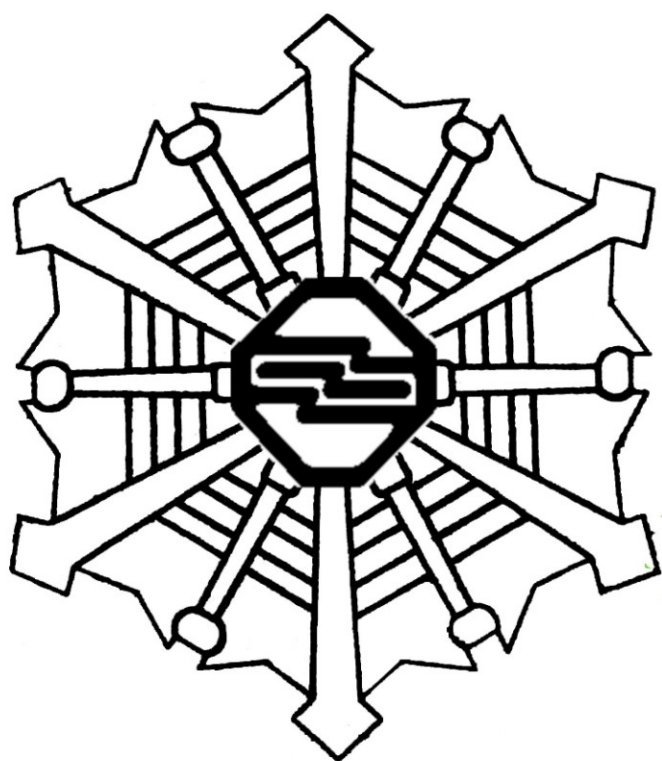


平成 25 年版

消 防 年 報



第 6 4 号

三 島 市 消 防 本 部

は し が き

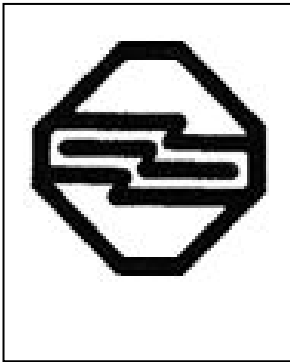
この年報は、平成26年4月1日現在における三島市の消防現況及び平成25年中の火災、救急活動状況等の消防事情を収録し、消防行政の合理的な運営と消防力の充実育成に資するものです。

平成26年7月

三島市消防本部

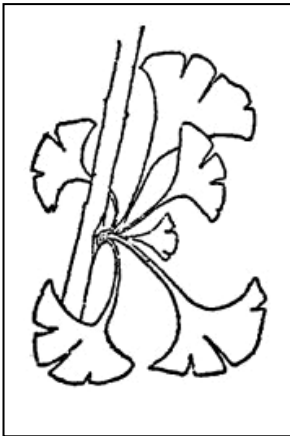
市章

三島市紋章



- 1 隅切りの輪郭は三島神社の御紋章に因み兼て富嶽の象たり。
- 2 中央の三線は三島の三の変形にして水流を示す。
- 3 富嶽のそびゆる下、清泉湧て流る。これを三島市の象徴となす。
(昭和16年4月29日制定)

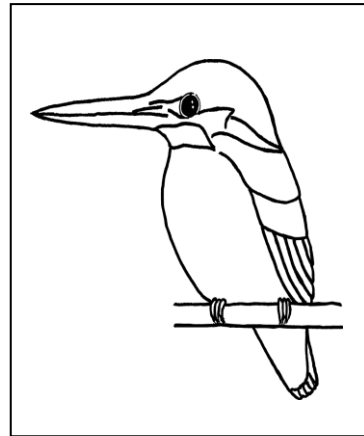
市の木 イチョウ



市の花 三島桜



市の鳥 カワセミ



三島市民憲章

(昭和45年10月11日制定)

わたくしたちは、箱根のふもと朝に夕に富士を仰ぐ恵まれた自然のなかに育った三島市民です。

わたくしたちは、三島市民であることに誇りと責任をもち、お互いのしあわせを願い、この憲章を定めます。

わたくしたち三島市民は、

- 1 自然を愛し きれいなまちをつくりましょう。
- 1 良い風習を育て 住みよいまちをつくりましょう。
- 1 文化をたいせつにし 豊かなまちをつくりましょう。
- 1 からだをきたえ 仕事にはげみ 明るいまちをつくりましょう。
- 1 平和を望み 友愛のあふれるまちをつくりましょう。

目 次

市 勢	1～2
消防本部・署のあゆみ	3～7
歴代消防長	8
相互応援協定	9
庶 務 関 係	
消防組織機構図	10
消防本部の事務分掌	11
消防署の事務分掌	12
消防費当初予算額	13
消防予算に対する負担等	13
平成26年度消防費予算歳出節別明細	14
消防力の現有	15
職員配属配置状況	16
消防職員の年齢調	17
消防職員の勤続年数調	18
消防職員教育実施状況表	19
消防施設・機械器具	
消防本部・消防署及び分遣所配置図	20
庁舎施設概要	21
消防本部・消防署車両等配置状況	22
消防機材一覧表	23
消防通信系統図	24
無線局一覧表	25～26
平成25年中119番受信状況	27
管轄区域別消防水利現況	28
予 防	
防火対象物調	29
地上4階以上の建築物の現況	30
工事別、月別建築確認同意件数	31

火災予防条例にもとづく届出及び検査件数	3 1
危険物製造所等規制事務申請件数	3 2
危険物貯蔵タンク水圧及び水張検査取扱件数	3 2
危険物製造所等施設数	3 3

協 力 団 体

三島市防火協会	3 4
---------	-----

育 成 団 体

三島市幼年消防クラブ	3 5
------------	-----

火 災 統 計

火災状況	3 6
月別火災発生状況	3 7
時間別火災状況	3 8
曜日別・時間別火災件数	3 9
原因別火災種別及び損害見積額	4 0
原因別火災発生状況	4 1
火災概況と前年との比較	4 2
出火原因別前年比較	4 3
過去10年間の火災発生状況	4 4
過去10年間の火災件数及び損害額	4 5

救 急 ・ 救 助 統 計

救急業務概要	4 6
月別出場件数及び搬送人員調	4 7
出動件数及び搬送人員と前年との比較	4 8
救急出場件数グラフ	4 9
消防署と北分遣所の出場件数比較	4 9
時間別救急出場件数調	5 0
時間別救急搬送人員調	5 0
事故種別傷病程度別救急搬送人員調	5 1
事故種別傷病程度割合	5 1
救急業務開始以来の救急活動状況	5 2
各種救急関係の統計	5 3

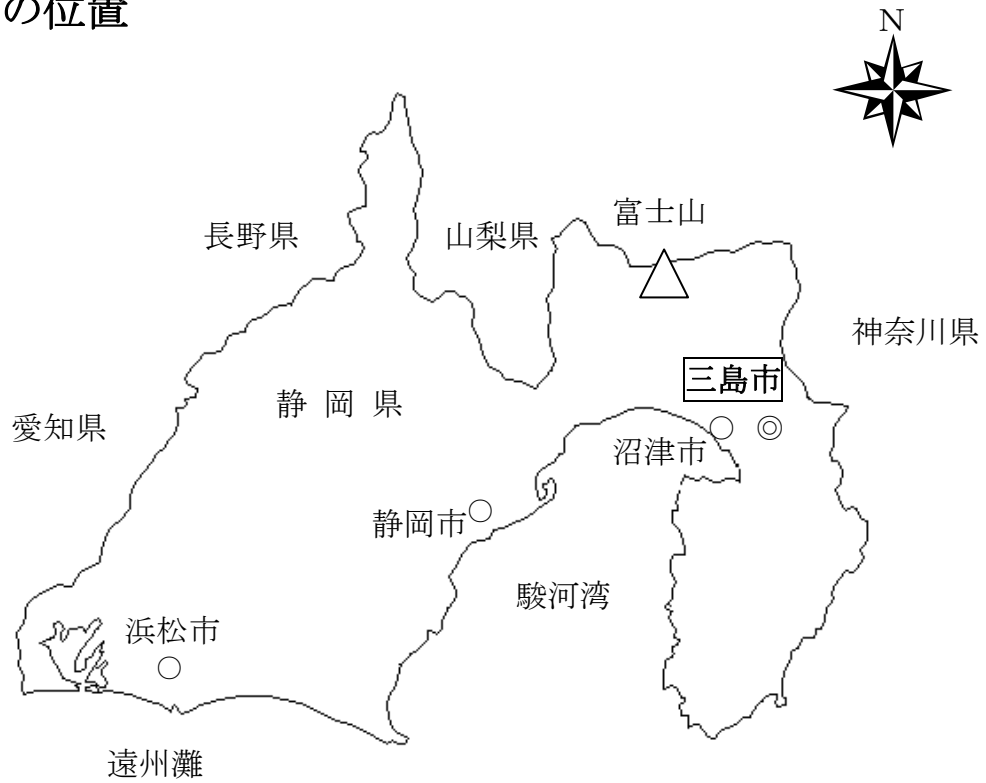
救助活動状況	54
救助訓練実施状況	54

消 防 団

消防団のあゆみ	55～58
歴代消防団長	59
消防団配置図	60
消防団組織機構図	61
消防団員定員実員調	62
消防団員年齢別及び階級別調	63
消防団員勤続年数調	64
消防団員勤続年数グラフ	64
消防団出動状況	65
機械配置状況	66～67
消防団員報酬	67

市 勢

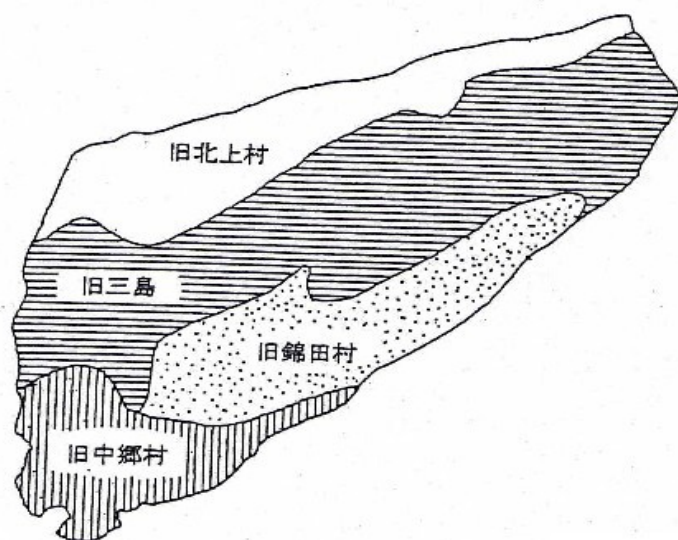
三島市の位置



方 位	地 名	緯	経 度
極 東	箱 根 峠	東 経	1 3 9 度 0 1 分
極 西	千 貫 樋	東 経	1 3 8 度 5 4 分
極 南	御 園	北 緯	3 5 度 0 4 分
極 北	片 平 山	北 緯	3 5 度 1 1 分
	三 島 市 役 所	東 経	1 3 8 度 5 5 分
		北 緯	3 5 度 0 6 分
東 西	1 1 . 1 0 7 km	南 北	1 3 . 2 4 2 km

面 積

年 月 日	面 積	摘 要
昭和10年3月31日	22.38km ²	旧三島町
昭和10年4月1日	34.77km ²	北上村(12.39km ²)編入
昭和16年4月29日	53.60km ²	錦田村(18.83km ²)合併・市制施行
昭和29年3月31日	61.81km ²	中郷村(8.21km ²)編入
平成4年9月1日	62.19km ²	国土地理院〔全国都道府県市区町村別面積調〕公表0.38km ² 増
平成5年9月30日	62.17km ²	国土地理院〔全国都道府県市区町村別面積調〕公表0.02km ² 減
平成13年10月1日	62.13km ²	国土地理院〔全国都道府県市区町村別面積調〕公表0.04km ² 減



人 口

(各年3月31日現在)

年	世 帯	人 口	面 積	1平方キロ当り
22	46,524	113,268人	62.13km ²	1,823人
23	47,025	113,047人	62.13km ²	1,820人
24	47,536	113,119人	62.13km ²	1,821人
25	47,587	112,632人	62.13km ²	1,813人
26	47,882	112,395人	62.13km ²	1,809人

消防本部・署のあゆみ

昭和20年 1月	常設消防部を設置し、主として警報伝達、防空監視を専門的に行った。ポンプ車はなく8人編成であった。
昭和20年10月	終戦によって消防本来の任務を行うために3人増員し、かつ消防ポンプ自動車1台を借用装備した。
昭和21年11月	旧海軍より払い下げのトラック1台を消防ポンプ自動車に改造し配置した。なお借用ポンプは返還した。
昭和22年11月	常設消防部員10人増員計21人とし、また消防ポンプ自動車1台を増強した。
昭和22年12月	消防組織法が公布された。
昭和23年 7月	消防法が公布された。
昭和23年 9月	三島市消防条例及び三島市危険物取締条例を公布した。
昭和23年 5月	分課条例の公布により消防課が設置された。
昭和25年 3月	三島市消防本部条例、同規則を公布するとともに消防課を消防本部に、常設消防部を消防署に改編した。編成は24人、消防ポンプ自動車2台である。
昭和25年12月	水槽付き消防ポンプ自動車1台を購入配置した。
昭和29年 3月	消防ポンプ自動車1台を廃車し、新たに水槽付き消防ポンプ自動車1台を購入し配置した。
昭和29年 6月	隣村中郷村を編入、消防署南分遣所開設のため職員15人を増員し、定数39人とした。
昭和29年 7月	南分遣所を市内大場16番地に開設した。職員13人、消防ポンプ自動車1台を配置した。
昭和33年12月	常設消防強化のため西分遣所を市内西本町3番37号に、北分遣所を市内文教町2丁目32番69号にそれぞれ開設し、職員15人を増員した。なお西分遣所は11人、水槽付き消防ポンプ自動車1台を配置し、北分遣所は10人、消防ポンプ自動車1台を配置した。
昭和34年 3月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台の寄贈を受けた。
昭和37年 1月	水槽付き消防ポンプ自動車1台を増強した。
昭和37年 1月	三島市火災予防条例を公布した。
昭和38年 4月	救急業務が法制化された。
昭和41年 2月	三島市危険物の規制に関する規則を公布した。
昭和42年 3月	市内一番町緒明太郎氏から救急車1台の寄贈を受けたので三救一号（さんきゅう）と、命名、救急業務を開始した。
昭和42年12月	日本損害保険協会から、水槽付き消防ポンプ自動車1台の寄贈を受けた。これに伴い老朽水槽付き消防ポンプ自動車1台を廃車した。

昭和 43 年 7 月	消防本部条例、同規則を全面改正し、消防本部及び消防署の設備等に関する条例、組織に関する規則、消防署勤務規則、消防表彰規則等を制定した。
昭和 45 年 3 月	三島市職員定数条例を改正し消防職員の定数を 68 人とした。
昭和 47 年 3 月	三島市職員定数条例を改正し消防職員の定数を 70 人とした。
昭和 47 年 10 月	消防ポンプ自動車 1 台を更新し配置した。
昭和 48 年 12 月	日本自動車工業会から救急自動車 1 台の寄贈を受け配置した。
昭和 49 年 3 月	南分遣所を市内中島 85 番地の 14 に移転新築した。
昭和 49 年 3 月	三島市職員定数条例を改正し消防職員の定数を 75 人とした。
昭和 49 年 10 月	三島市ロータリークラブから救急自動車 1 台の寄贈を受け配置した。
昭和 50 年 1 月	3.2m 梯子付き消防ポンプ自動車 1 台を購入し配置した。
昭和 50 年 1 月	消防本部、消防署を玉川 404 番地の 2 に新築移転した。
昭和 50 年 2 月	昭和 42 年市内緒明太郎氏から寄贈の救急車を廃車した。
昭和 50 年 3 月	三島市職員定数条例を改正し、消防職員の定数を 85 人とした。
昭和 50 年 10 月	指令車 1 台を購入し配置した。
昭和 51 年 5 月	三島信用金庫から指令車 1 台の寄贈を受け配置した。
昭和 51 年 12 月	三島市職員定数条例を改正し、消防職員の定数を 95 人とした。
昭和 51 年 12 月	東分遣所を市内谷田 294 番地の 1 に開設、職員 8 人、消防ポンプ自動車 1 台を配置した。
昭和 52 年 5 月	西分遣所老朽により新築開所した。
昭和 52 年 11 月	可搬式動力ポンプ C-1 級 3 台を大震火災対策事業の一環として購入し各所に配置した。
昭和 52 年 12 月	水槽付き消防ポンプ自動車 1 台を購入し、北分遣所へ配置し老朽車 1 台を廃車した。
昭和 53 年 1 月	救急指令装置が導入され業務を開始した。
昭和 53 年 3 月	三島市富田町 279 番地の 3 に訓練用地 (979㎡) を買収した。
昭和 53 年 3 月	三島市職員定数条例を改正し、消防職員の定数を 100 人とした。
昭和 53 年 4 月	消防本部に管理課を設置した。
昭和 53 年 10 月	日本損害保険協会から救助工作車 1 台の寄贈を受けた。
昭和 53 年 12 月	北上分遣所設置のため、消防ポンプ自動車 1 台を購入した。
昭和 53 年 12 月	大規模地震対策特別措置法施行
昭和 54 年 3 月	三島ライオンズクラブから救急車 1 台の寄贈を受け配置した。
昭和 54 年 3 月	三島市職員定数条例を改正し、消防職員の定数を 110 人とした。
昭和 54 年 4 月	大規模地震対策特別措置法の施行により、三島市自主防災会が設立され、107 自治会に自主防災組織が発足した。
昭和 54 年 6 月	北上分遣所を市内徳倉 4 丁目 36 番 9 号に開設した。職員 10 人消防ポンプ自動車 1 台を配置した。
昭和 54 年 11 月	消防署に高圧ガス製造所 (圧縮空気) を設置した。

昭和 55 年 2 月	水槽付き消防ポンプ自動車を 1 台購入し西分遣所に配置した。なお老朽車は廃車した。
昭和 55 年 3 月	火災予防条例の一部を改正した。
昭和 56 年 3 月	訓練塔（主塔 17 m、副塔 9 m）を訓練場に設置した。
昭和 56 年 4 月	消防本部に予防課を設置した。
昭和 56 年 5 月	作業車（1 t）1 台を購入し配置した。
昭和 56 年 20 月	日本消防協会から広報車 1 台の寄贈を受け配置した。
昭和 57 年 2 月	訓練塔（補助塔 9 m）を訓練場に設置した。
昭和 57 年 4 月	三島西ロータリークラブから寄付を受け救急車 1 台を購入し、消防署に配置した。
昭和 57 年 8 月	消防ポンプ自動車 1 台を購入し、東分遣所に配置した。なお老朽車は廃車した。
昭和 59 年 3 月	北分遣所をコミュニティ防災センターと併設、市内文教町 2 丁目 1 番 3 2 号に新築開所した。 同時に救急 1 号車を配置し、職員 8 人を配置した。
昭和 59 年 11 月	消防ポンプ自動車 1 台を購入し、南分遣所に配置した。なお老朽車は廃車した。
昭和 60 年 2 月	日本損害保険協会から寄贈を受けた救急車を北分遣所に配車し、老朽の救急 1 号車を廃車した。
昭和 60 年 11 月	小型動力ポンプ付水槽車（10 t）を購入し、消防署に配置した。 なお老朽の消防ポンプ自動車を廃車した。
昭和 61 年 4 月	危険物安全協会から査察車 1 台の寄贈を受け配置した。
昭和 63 年 9 月	日本消防協会から寄贈を受けた救急車 1 台を北分遣所に配置した。 なお老朽の救急 2 号車を廃車した。
昭和 63 年 10 月	日本損害保険協会から寄贈を受けた救助工作車 1 台を消防署に配置した。 なお老朽車は廃車した。
昭和 63 年 12 月	水槽付消防ポンプ自動車を 1 台購入し、北分遣所に配置した。 なお老朽車は廃車した。
平成 2 年 8 月	日本消防協会から寄贈を受けた広報車 1 台を消防署に配置した。 なお老朽車は廃車した。
平成 3 年 2 月	通信指令室及び消防署待機室を増築した。
平成 3 年 3 月	消防緊急情報システムを導入し運用を開始した。 なお老朽指令装置は廃棄した。
平成 3 年 8 月	救急救命士法施行
平成 3 年 12 月	水槽付消防ポンプ自動車を 1 台購入し、南分遣所に配置した。 なお老朽車は廃車した。
平成 4 年 3 月	防災倉庫を訓練場北側に新築した。
平成 4 年 10 月	救急車 1 台を購入し、消防署に配置した。なお老朽車は廃車した。

平成 4 年 11 月	防災用車両を購入、消防署に配置した。
平成 4 年 12 月	非常用電源設備を消防署に設置した。
平成 4 年 12 月	普通消防ポンプ自動車 1 台を購入し、消防署に配置した。 なお老朽車は廃車した。
平成 5 年 9 月	三島市職員定数条例を改正し、消防職員の定数を 1 2 0 人とした。
平成 6 年 3 月	3 5 m 梯子付消防自動車を購入し、消防署に配置した。 なお老朽車は廃車した。
平成 7 年 12 月	救急救命士国家試験に 1 名が合格し当市初の救急救命士が誕生した。
平成 8 年 2 月	高規格救急車 1 台を購入し、消防署に配置した。 なお老朽車は廃車した。
平成 8 年 3 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し、西分遣所に配置した。 なお老朽車は廃車した。
平成 8 年 4 月	危険物安全協会から査察車 1 台の寄贈を受け、老朽車を廃車した。
平成 8 年 11 月	軽防災車 1 台を購入（増車）し消防署に配置した。
平成 9 年 2 月	消防ポンプ自動車 1 台を購入し、東分遣所に配置した。 なお老朽車を廃車した。
平成 9 年 3 月	東分遣所を同一場所に新築し、消防団第 6 分団車庫及び詰所を併設した。
平成 10 年 1 月	指令車を購入し消防署へ配置した。なお老朽車を廃車した。
平成 10 年 12 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入し、北上分遣所に配置した。なお老朽車は廃車した。
平成 11 年 2 月	高規格救急車 1 台を購入し北分遣所に配置した。なお老朽車は廃車した。
平成 11 年 12 月	小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型を購入し、消防署に配置した。 なお老朽した小型動力ポンプ付水槽車を廃車した。
平成 12 年 12 月	日本損害保険協会から寄贈を受けた救助工作車 1 台を消防署に配置した。 なお老朽車は廃車した。
平成 13 年 10 月	高規格救急車 1 台を購入し、消防署に増車配置した。
平成 14 年 4 月	三市二町消防通信指令施設運営協議会に加入した。
平成 14 年 8 月	広報車を購入し消防本部に配置した。なお老朽車を廃車した。
平成 15 年 3 月	三市二町消防指令センターへ指令機能を移転した。
平成 15 年 11 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入、北分遣所に配置した。なお老朽車は廃車した。
平成 16 年 12 月	高規格救急車 1 台を購入し北分遣所に配置した。なお老朽車は廃車した。
平成 18 年 1 月	市役所本庁他公共施設 7 ヶ所に A E D を設置した。
平成 18 年 2 月	日本消防協会より指揮司令車の寄贈を受け、老朽化した査察車を廃車した。

平成 18 年 4 月	機構改革により西分遣所を消防署に統廃合し、消防本部に警防救急課を新設した。管理課を消防総務課、東分遣所を錦田分遣所、南分遣所を中郷分遣所にそれぞれ名称を改めた。
平成 18 年 6 月	消防車両 5 台、市内小中学校および公共施設計 37 ヶ所に A E D を設置し合計 44 台となる。
平成 18 年 9 月	消防本部、消防署を南田町 4 番 40 号に新築移転した。訓練塔 2 棟を設置した。
平成 19 年 4 月	当市ではじめての女性消防吏員 2 名が誕生した。
平成 19 年 5 月	既に A E D を設置してある事業所が参加してあんしん A E D ステーション事業を開始した。(現在 110 事業所参加)
平成 21 年 11 月	耐震基準に充たしていなかった中郷分遣所の改築工事をおこなった。
平成 22 年 1 月	耐震基準に充たしていなかった北上分遣所の改築工事をおこなった。
平成 22 年 7 月	全国初となる 24 時間営業の店舗を対象に A E D を設置する、あんしん A E D ステーション事業 24 を開始した。(現在 42 事業所に設置)
平成 22 年 12 月	高規格救急車 1 台を購入し北分遣所に配置した。なお老朽車は廃車した。
平成 23 年 1 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入、中郷分遣所に配置した。なお老朽車は廃車した。
平成 23 年 12 月	支援車 1 台を購入し、消防署に増車配置した。
平成 24 年 1 月	高規格救急車 1 台を購入、消防署に配置した。なお老朽車は廃車した。
平成 24 年 5 月	三島市、裾野市及び長泉町消防広域化研究協議会(任意)を設立した。
平成 24 年 9 月	全国共済農業協同組合連合会静岡県本部から高規格救急車 1 台の寄贈を受け、北分遣所に配置した。なお、高規格救急車 1 台を予備車とした。
平成 24 年 11 月	三島市防火協会創立 10 周年記念事業により、軽防災活動車の寄贈を受けた。
平成 24 年 12 月	圧縮空気泡吐出装置付き消防ポンプ自動車 1 台を購入、錦田分遣所に配置した。老朽車を日本外交協会に寄贈した。

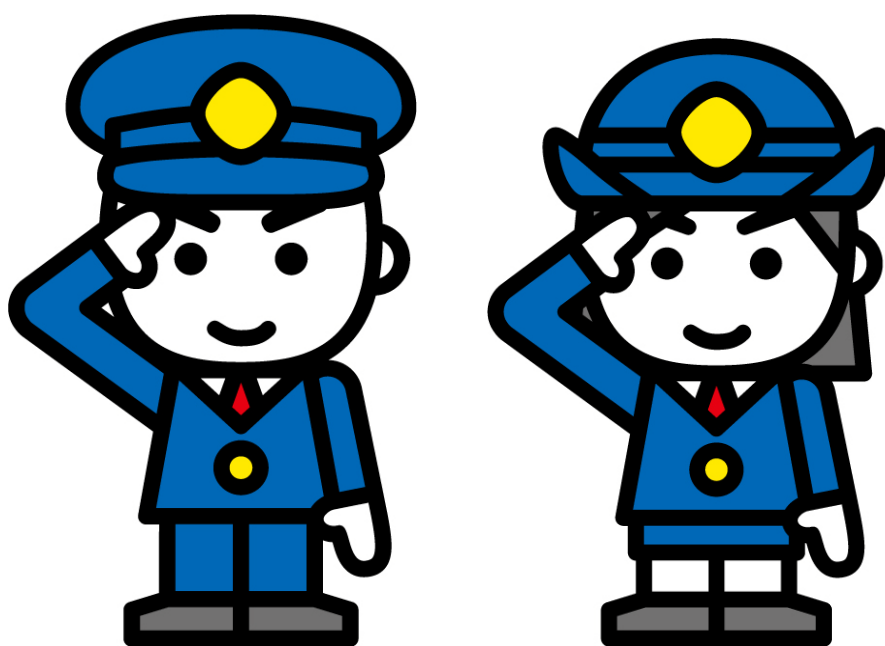
歴代消防長

代	氏名	期間
初代	石垣彦太郎	昭和25年 3月28日 ~ 昭和32年 5月 1日
2代	岩崎吉蔵	昭和32年 5月 1日 ~ 昭和38年 2月28日
3代	鈴木文雄	昭和38年 3月 1日 ~ 昭和38年 5月31日
4代	二ノ宮茂一	昭和38年 6月 1日 ~ 昭和47年 3月31日
5代	川口清一	昭和47年 4月 1日 ~ 昭和48年 3月31日
6代	遠藤国雄	昭和48年 4月 1日 ~ 昭和49年 3月31日
7代	川口清一	昭和49年 4月 1日 ~ 昭和56年 3月31日
8代	大隅昭吾	昭和56年 4月 1日 ~ 昭和58年 3月31日
9代	近藤里美	昭和58年 4月 1日 ~ 昭和59年 3月31日
10代	井草久次	昭和59年 4月 1日 ~ 昭和60年 3月31日
11代	飯田章	昭和60年 4月 1日 ~ 昭和62年 3月31日
12代	小川日出雄	昭和62年 4月 1日 ~ 平成元年 3月31日
13代	望月武	平成元年 4月 1日 ~ 平成7年 3月31日
14代	新村晃	平成7年 4月 1日 ~ 平成11年 3月31日
15代	中野勝央	平成11年 4月 1日 ~ 平成13年 3月31日
16代	高野晴男	平成13年 4月 1日 ~ 平成14年 3月31日
17代	吉田秀夫	平成14年 4月 1日 ~ 平成15年 3月31日
18代	下山守	平成15年 4月 1日 ~ 平成16年 3月31日
19代	芹澤幸一	平成16年 4月 1日 ~ 平成17年 3月31日
20代	井原邦衛	平成17年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
21代	渡辺広道	平成22年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日
22代	室伏純二	平成25年 4月 1日 ~ 現在

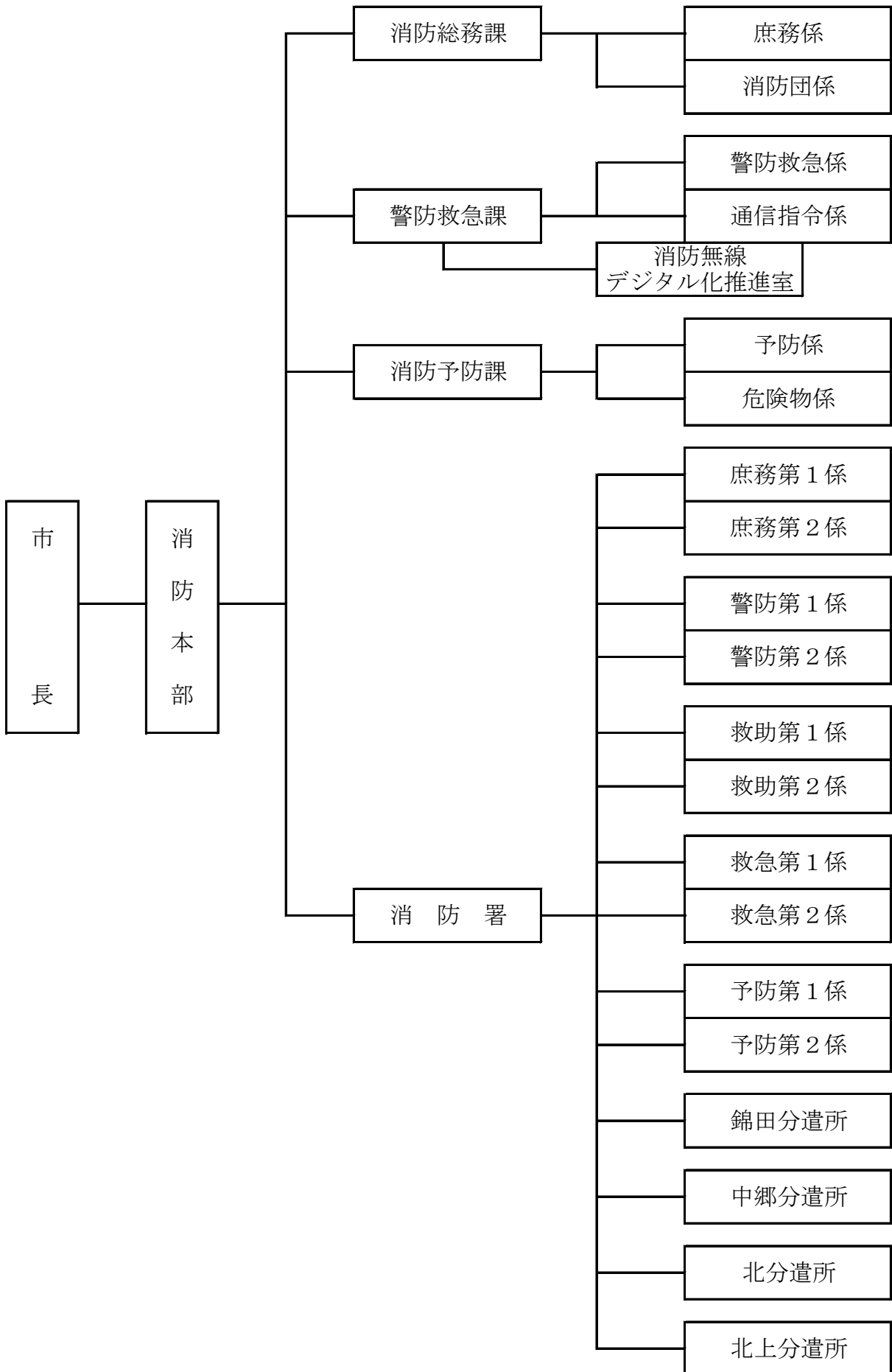
相互応援協定

協 定 名	締 結 日	締結の種類	締 結 機 関
静岡県東部6市町 消防相互応援協定	昭和58年 4月1日	全ての災害	三島市、沼津市、裾野市 長泉町、清水町、 田方消防本部
静岡県消防相互応援協定	昭和62年 3月2日	全ての災害	県下37市町及び消防組合
災害時等の相互応援 に関する協定	平成2年 12月27日	災 害	沼津市以東、駿東地区、 田方地区、伊豆地区 (9市8町)
静岡県防災ヘリコプター 応援協定	平成9年 3月24日	災 害	県下37市町及び消防組合
消防相互応援協定	平成13年 9月1日	災 害	箱根町

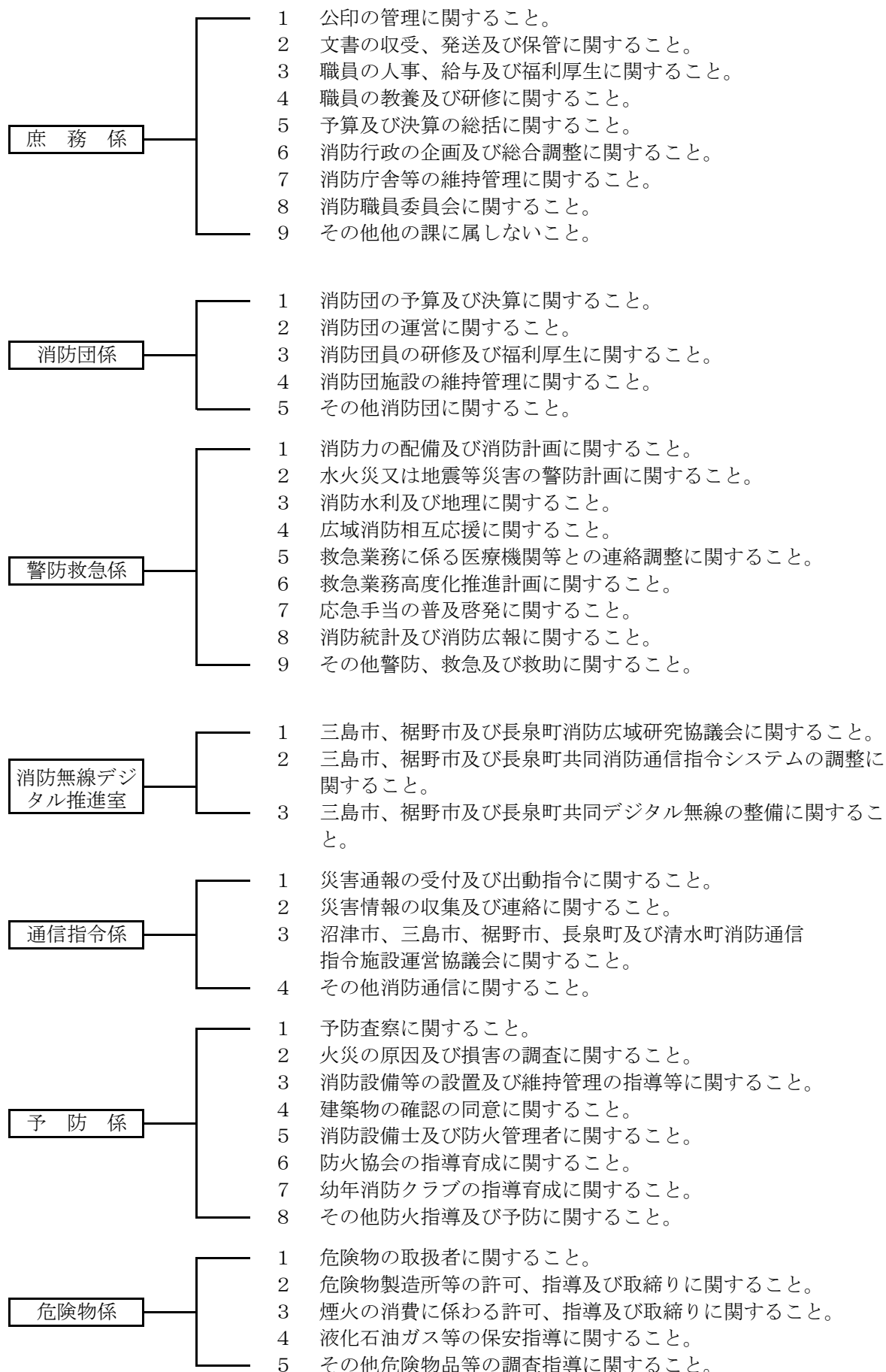
庶務 関係



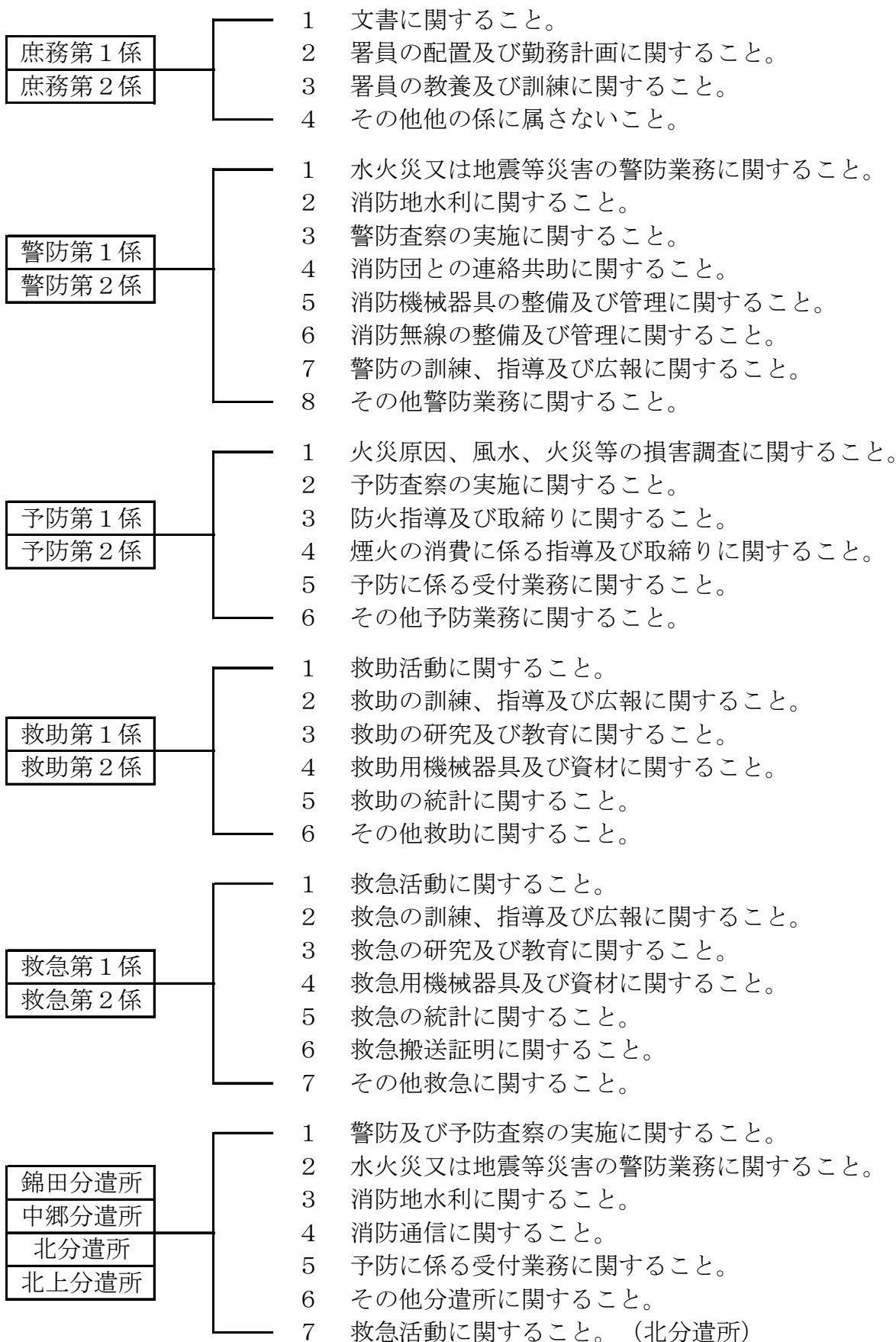
三島市消防本部消防組織機構図



消防本部の事務分掌



消防署の事務分掌



消防費当初予算額

(単位：千円)

区分 年度	一般会計予算	消防費	比較 (%)	消防費内訳					
	A	B	B/A*100	常備消防費	非常備 消防費	消防施設費	水防費 (危機管理課)	防災費 (危機管理課)	二市一町通信 指令施設等 整備費
19年度	32,300,000	1,352,618	4.2	1,095,573	78,133	47,483	2,347	129,082	
20年度	31,673,000	1,322,142	4.2	1,083,252	73,136	39,201	2,289	124,264	
21年度	32,100,000	1,326,202	4.1	1,060,725	77,322	73,069	2,265	112,821	
22年度	34,430,000	1,361,622	4.0	1,047,763	79,949	77,232	2,265	170,821	
23年度	37,470,000	1,378,030	3.7	1,050,775	75,537	119,376	2,265	113,669	
24年度	33,780,000	1,361,881	4.0	1,037,685	79,674	102,637	2,255	139,630	
25年度	33,871,000	1,412,635	4.2	995,516	79,922	39,460	2,161	122,188	173,388
26年度	35,800,000	1,453,464	4.1	977,942	75,530	17,380	498	143,041	238,406

消防予算に対する負担等

(単位：円)

区分 年度	消防費	市民負担金		一日平均
		一人あたり	一世帯あたり	
平成19年度	1,352,618,000	11,877	29,920	3,705,803
平成20年度	1,322,142,000	11,598	28,797	3,622,307
平成21年度	1,326,202,000	11,664	28,649	3,633,430
平成22年度	1,361,622,000	12,021	29,267	3,730,471
平成23年度	1,378,030,000	12,181	29,304	3,775,425
平成24年度	1,361,881,000	12,039	28,649	3,731,181
平成25年度	1,412,635,000	12,542	29,685	3,870,233
平成26年度	1,453,464,000	12,932	30,355	3,982,093

平成 26 年度消防費予算歳出節別明細

(単位：千円)

区 分	常備 消防費	非常備 消防費	消防 施設費	水防費 (危機管理 課)	防災費 (危機管理 課)	二市一町通 信指令施設 等整備費	計
1 報酬		31,623		113	2,138		33,874
2 給料	438,334				25,087		463,421
3 職員手当等	311,416				17,394		328,810
4 共済費	144,101				8,414		152,515
5 災害補償費		200					200
7 賃金	3,777						3,777
8 報償費	1,255	8,177			300		9,732
9 旅費	2,325	530			987		3,842
10 交際費	15	20					35
11 需用費	27,283	11,089	160	339	30,054		68,925
12 役務費	4,462	562		8	3,574		8,606
13 委託料	1,432	135	1,820		24,818	5,300	33,505
14 使用料 及び賃借料	7,739				4,277		12,016
15 工事請負費			8,200			233,106	241,306
16 原材料費	7	5		38	150		200
17 公有財産 購入費							0
18 備品購入費	3,772	346			7,664		11,782
19 負担金補助 及び交付金	31,151	22,591	7,200		18,164		79,106
22 補償補填 及び賠償金	1	1					2
27 公課費	872	251			20		1,143
計	977,942	75,530	17,380	498	143,041	238,406	1,452,797

消防力の現有

署所数

(平成26年4月1日現在)

区	分	現 有
署 所	市街地	5
	準市街地	0
	その他の地域	0
合計		5

車両、消防本部、署所の人員

(平成26年4月1日現在)

区	分	車 両	台 数	人 員
消 防 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車		2	48
	救 急 自 動 車		3	
	救 助 工 作 車		1	
	は し ご 付 消 防 自 動 車		1	
	大 型 水 槽 車		1	
	指 揮 指 令 車		1	
北 上 分 遣 所	消 防 ポ ン プ 自 動 車		1	10
北 分 遣 所	消 防 ポ ン プ 自 動 車		3	18
	救 急 自 動 車			
錦 田 分 遣 所	消 防 ポ ン プ 自 動 車		1	10
中 郷 分 遣 所	消 防 ポ ン プ 自 動 車		1	10
小 計			15	96
本 部	総 務 課	非 常 時 用 消 防 車 両 等	6	24
	警 防 課			
	予 防 課			
合 計			21	120

職員配属配置状況

(平成26年4月1日現在)

階 級		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	計
消 防 長		1								1
消 防 本 部	消防総務課	課 長		1						1
		庶 務 係		1	1	1	1	1		5
		消防団係			1		1			2
	警防救急課	課 長		1						1
		警防救急係			1		3			4
		消防無線デジタル推進室			1					1
		通信指令係			1	2	1	1		5
	消防予防課	課 長		1						1
		予 防 係				2				2
		危険物係			1			1		2
計		1	4	6	5	6	3	0	0	25
消 防 署	消防署長			1						1
	庶務第1係、第2係				2		1	1	4	8
	警防第1係・第2係				2	1	1		4	8
	予防第1係・第2係				1	1	2	1	4	9
	救助第1係・第1係					4	3	2	2	11
	救急第1係・第2係					5		1	4	10
	錦田分遣所				1	3	2	1	3	10
	中郷分遣所				1	3	2	1	3	10
	北分遣所				2	6	1	4	5	18
	北上分遣所				1	2	3	1	3	10
計		0	1	10	25	15	12	32	0	95
合 計		1	5	16	30	21	15	32	0	120

消防職員の年齢調

(平成26年4月1日現在)

階級 年齢	消 防 監	消防 司令長	消防司令	消防 司令補	消防士長	消防 副士長	消防士	計
20 歳未満							3	3
20 歳以上							2	2
21 歳以上							2	2
22 歳以上							7	7
23 歳以上							6	6
24 歳以上							2	2
25 歳以上							6	6
26 歳以上							3	3
27 歳以上						4	1	5
28 歳以上						3		3
29 歳以上						3		3
30 歳以上					2	1		3
31 歳以上					2	1		3
32 歳以上						1		1
33 歳以上					2	1		3
34 歳以上					1	1		2
35 歳以上					3			3
36 歳以上				1	3			4
37 歳以上				1	1			2
38 歳以上				6	2			8
39 歳以上				1	2			3
40 歳以上				2	2			4
41 歳以上				3				3
42 歳以上				1				1
43 歳以上				3				3
44 歳以上				2				2
45 歳以上								0
46 歳以上				1				1
47 歳以上				1				1
48 歳以上								0
49 歳以上				2				2
50 歳以上				2				2
51 歳以上				1				1
52 歳以上		1						1
53 歳以上			5					5
54 歳以上			2	1				3
55 歳以上		1	3	1				5
56 歳以上		2	3	1				6
57 歳以上			2		1			3
58 歳以上								0
59 歳以上	1	1	1					3
60 歳以上								0
計	1	5	16	30	21	15	32	120
							平均年齢	37.2 歳

消防職員の勤続年数調

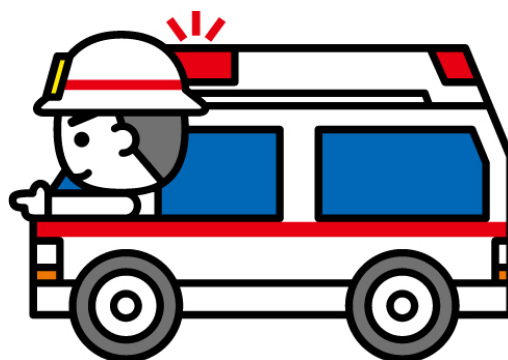
(平成26年4月1日現在)

階級 年数別	消 防 監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消 防 士	計
1年未満							8	8
1年以上	1						6	7
2年以上							7	7
3年以上							6	6
4年以上						1	3	4
5年以上						4	2	6
6年以上						2		2
7年以上						3		3
8年以上					2	4		6
9年以上					1	1		2
10年以上					3			3
11年以上					4			4
12年以上					3			3
13年以上					2			2
14年以上								0
15年以上				3	1			4
16年以上				2	1			3
17年以上				1	2			3
18年以上				3				3
19年以上				2				2
20年以上				4	1			5
21年以上				2				2
22年以上				1				1
23年以上				1				1
24年以上				1				1
25年以上				4				4
26年以上				1				1
27年以上				1				1
28年以上								0
29年以上								0
30年以上		1		3				4
31年以上			1	1				2
32年以上								0
33年以上			2					2
34年以上			2					2
35年以上			5					5
36年以上			1		1			2
37年以上		3	4					7
38年以上			1					1
39年以上								0
40年以上								0
41年以上		1						1
計	1	5	16	30	21	15	32	120
							平均勤続年数	15年5ヶ月

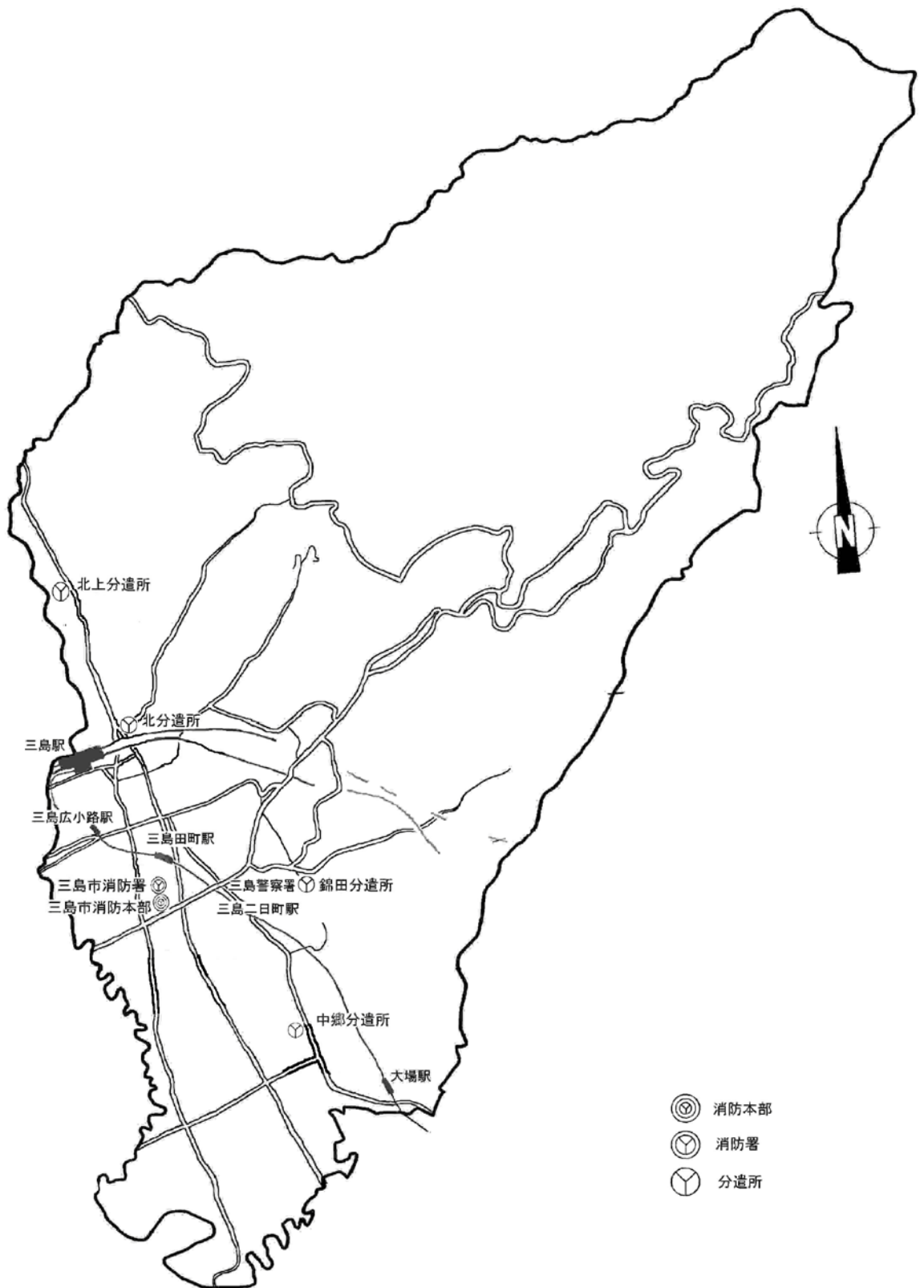
消防職員教育実施状況表

別 科 目 別		年 度				
		H21	H22	H23	H24	H25
消 防 大 学 校	新任消防長・学校長科		1			1
	幹部科					
	予防科				1	
	救助科					1
県 消 防 学 校	初任科	7	4	7	5	9
	上級幹部科					
	幹部科					
	中級幹部科					
	初級幹部科					
	救助科		2	2	2	1
	特殊災害科					
	救急科	2	4	3	4	4
	火災調査科		2	2	2	1
	予防査察科	1	2	1	1	
	警防科			2	3	1
	気管挿管講習			1		
	危険物科					
	ビデオ喉頭鏡講習					1
そ の 他	救急救命士養成課程			1	1	1
	消防設備点検資格者講習	1				
	無線従事者養成講習会			1	1	2
合計		11	15	20	20	22

消防施設・機械器具



消防本部・消防署及び分遣所配置図



庁舎施設概要

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

部所属	所在地	敷地面積	建築延面積	構造	建築年月日	付 属 施 設
三島市消防本部 三島市消防署	〒411-0837 三島市南田町 4-40 TEL 055-972-5800(代) FAX 055-973-0126	6,100.00 m ²	3,506.81 m ²	鉄筋コンクリート造 3階建	平成 18 年 9 月 1 日	訓練塔 2 基 防災拠点用倉庫 1 棟
錦田分遣所	〒411-0801 三島市谷田並木 294-1 TEL 055-971-6044	449.72 m ²	225.54 m ² 分遣所分 126.09 m ²	鉄骨造 2階建	平成 9 年 3 月 25 日	ホース乾燥用鉄塔 1 基
中郷分遣所	〒411-0814 三島市中島 85-14 TEL 055-977-1264	438.69 m ²	158.8 m ²	鉄骨造 平屋建	昭和 49 年 5 月 14 日	ホース乾燥用鉄塔 1 基
北分遣所	〒411-0033 三島市文教町 2 丁目 1-32 TEL 055-986-7361 FAX 055-986-7361	1,184.20 m ²	563.7 m ²	鉄筋コンクリート造 2階建	昭和 59 年 1 月 31 日	ホース乾燥用鉄塔 1 基 (北地区コミュニティー防災 センター 198.00 m ² 含)
北上分遣所	〒411-0044 三島市徳倉 4 丁目 36-9 TEL 055-987-0119	469.00 m ²	152.95 m ²	鉄骨造 平屋建	昭和 54 年 5 月 30 日	ホース乾燥用鉄塔 1 基

消防本部・消防署車両等配置状況

(平成26年4月1日現在)

所属	区分	車両種別	車名	年式	製造メーカー	摘要
消防本部		指揮司令車	トヨタ	H18	東京トヨタ	寄贈車
		支援車	トヨタ	H23	静岡トヨタ	
		広報車	スズキ	H14	小川ポンプ	
		軽防災活動車	日産	H24	日産	
		防災車	いすゞ	H4	小川ポンプ	
		山林パトロール車	三菱	H10	三菱	寄贈車
		ミニ消防車	スズキ	H8	小川ポンプ	寄贈車
消防署		小型動力ポンプ付水槽車	日野	H11	小川ポンプ	(10,000ℓ)
		消防ポンプ自動車	日野	H4	小川ポンプ	
		はしご付消防自動車	日野	H7	日本機械	(35m)
		救助工作車	三菱	H12	モリタ工業	寄贈車
		水槽付消防ポンプ自動車	日野	H15	小川ポンプ	(2,500ℓ)
		高規格救急車	日産	H16	オーテック	
		高規格救急車	トヨタ	H22	静岡トヨタ	
		高規格救急車	トヨタ	H23	静岡トヨタ	
錦田分遣所		消防ポンプ自動車	いすゞ	H24	モリタ	(600ℓ)
中郷分遣所		水槽付消防ポンプ自動車	日野	H23	小川ポンプ	(2,000ℓ)
北分遣所		水槽付消防ポンプ自動車	日野	H8	小川ポンプ	(3,000ℓ)
		高規格救急車	トヨタ	H24	静岡トヨタ	寄贈車
		高規格救急車	日産	H8	オーテック	
北上分遣所		水槽付消防ポンプ自動車	日野	H10	小川ポンプ	(2,500ℓ)

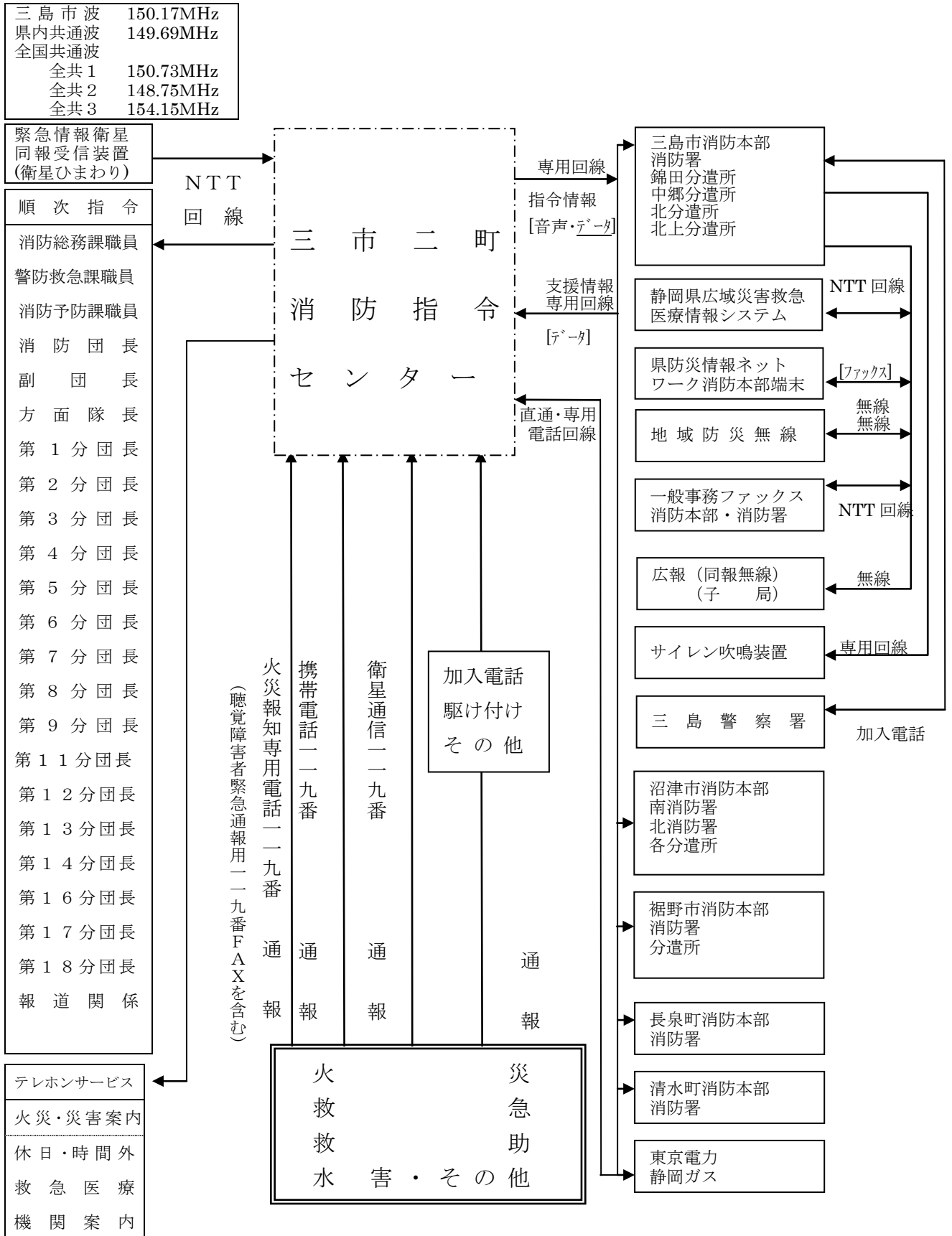
消防機材一覧表

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

一般救助用具		限定器具		救命浮環	3
かぎ付はしご	2	可燃性ガス測定器	9	救命ボート	10
三連はしご	4	酸素濃度測定器	3	船外機	2
金属性折りたたみはしご	1	放射線測定器	8	山岳救助用器具	
空気式救助マット	2			バスケット型担架	1
救命索発射銃	2	呼吸保護用器具		放水関連器具	
救助用縛帯	3	空気呼吸器	25	泡ノズル	6
平担架	1	防毒マスク	5	プロジェクトガン	7
		送排風機	2	ジェットシューター	24
				アプリーケーター	2
				クールファイターノズル	1
重量物排除用具				エコファイター	2
油圧ジャッキ	4				
油圧スプレッター	1	隊員保護用器具			
大型油圧スプレッター	3	耐電手袋	7		
マット型空気式ジャッキ	2	耐電衣	3		
可搬式ウインチ	3	耐電ズボン	3		
		耐電長靴	3		
切断用器具		耐熱服	1		
大型油圧カッター	3				
エンジンカッター	2				
ガス溶断器	1	その他の救助器具			
チェーンソー	5	投光器一式	8		
鉄線カッター	4	緩降機	1		
空気鋸	1	ロープ登降機	2		
破壊用器具		その他救助器具			
万能斧 (弁慶)	3	ファイバースコープ	1		
万能斧 (ストライカー)	6	マンホール救助器具	1		
ハンマー	2				
削岩機	1	水難救助器具			
ハンマードリル	1	救命胴衣	20		

消防通信系統図

(平成 26 年 4 月 1 日現在)



無線局一覽表

(平成26年4月1日現在)

種別	呼出名称	出力	周波数 (MHz)			配置先	積載車両
固定局	みしましょうぼう	10W	150.17(市波)			消防署	
"	みしましょうぼうぬまづ	5W	150.17			指令センター	
基地局	みしましょうぼう	10W	150.17			消防署	
第2装置	"	"	149.69 (県波)	150.17		"	
第3装置	"	"	150.73 (全共1)	148.75 (全共2)	154.15 (全共3)	"	
陸上移動局	みしま1	"	5周波数内臓			"	ポンプ車
"	みしま11(AVM用)	"	150.17			"	ポンプ車
"	みしま2	"	5周波数内臓			"	水槽付車
"	みしま3	"	"			北分遣所	水槽付車
"	みしま13(AVM用)	"	150.17			"	水槽付車
"	みしま4	"	5周波数内臓			中郷分遣所	水槽付車
"	みしま5	"	"			錦田分遣所	ポンプ車
"	みしま6	"	"			北上分遣所	水槽付車
"	みしま52	"	"			消防署	支援車
"	みしま8	"	"			"	ミニ消防車
"	みしま9	"	"			"	防災車
"	みしま10	"	"			"	水槽車
"	みしま31	"	"			"	梯子車
"	みしま41	"	"			"	工作車
"	みしま51	"	"			"	広報車
"	みしま71	"	"			"	指揮司令車
"	きゅうきゅうみしま1	"	"			北分遣所	救急車
"	きゅうきゅうみしま2	"	"			"	救急車
"	きゅうきゅうみしま3	"	"			"	救急車
"	きゅうきゅうみしま4	"	"			"	救急車
"	きゅうきゅうみしま5	"	"			北分遣所	救急車
"	みしま101	1W	"			消防署	携帯
"	みしま102	5W	"			"	"
"	みしま103	"	"			消防本部	"
"	みしま104	"	"			中郷分遣所	"
"	みしま105	"	"			錦田分遣所	"
"	みしま106	"	"			北上分遣所	"
"	みしま107	"	"			消防署	"
"	みしま108	1W	"			団	"
"	みしま109	"	"			消防署	"

種 別	呼 出 名 称	出 力	周 波 数 (M H z)			配 置 先	車 両 積 載
陸上移動局	みしま110	1W	5周波数内臓			消防団副団長	携 帯
〃	みしま111	〃	〃			第3方面隊長	〃
〃	みしま112	〃	〃			消防団副団長	〃
〃	みしま113	5W	〃			消防署	〃
〃	みしま114	1W	〃			第2方面隊長	〃
〃	みしま115	〃	〃			第1方面隊長	〃
〃	みしま116	〃	〃			消防団副団長	〃
〃	みしま117	〃	〃			消防団長	〃
〃	みしま118	〃	〃			北分遣所	〃
〃	みしま119	5W	〃			消防署	〃
〃	みしま120	〃	〃			消防署	〃
〃	みしま121	1W	〃			団	〃
〃	みしま122	〃	〃			〃	〃
〃	みしま123	5W	〃			北分遣所	〃
〃	みしま124	〃	〃			北分遣所	〃
〃	みしま125	1W	〃			予防課	〃
〃	みしま126	〃	〃			消防署	〃
〃	みしま127	〃	〃			〃	〃
〃	みしま128	〃	〃			消防団副団長	〃
〃	みしま129	〃	〃			第4方面隊長	〃
〃	みしま130	〃	〃			消防署長	〃
〃	みしま131	5W	〃			防災課	〃
〃	みしま132	〃	〃			消防署	〃
〃	みしま133	〃	〃			〃	〃
〃	みしま134	〃	〃			第5分団	〃
〃	みしま200	10W	150.17			市防災センター	〃
〃	みしま201	〃	149.69			〃	〃
〃	みしま202	〃	150.73	148.75	154.15	〃	〃

平成25年 119番受信状況

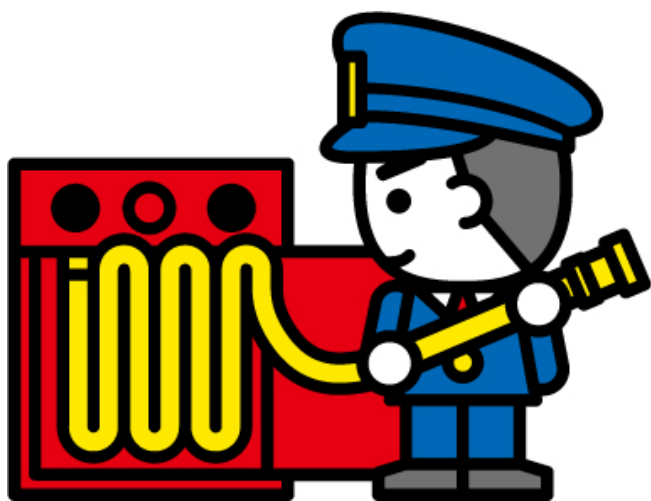
種別		月別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災 (重複含む)	119番	0	1	6	0	1	0	0	1	1	6	5	1	22
	携帯119	4	1	4	1	4	1	1	13	0	5	12	2	48
	緊急通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	1	2	0	1	0	0	2	0	1	0	0	7
救急	119番	298	263	246	242	245	195	273	256	223	266	269	297	3,073
	携帯119	135	106	94	101	86	110	135	129	90	112	103	134	1,335
	緊急通報	3	2	3	2	0	2	2	3	0	3	3	2	25
	その他	4	4	8	5	5	8	7	12	3	5	6	8	75
救助	119番	0	1	2	0	0	3	2	2	0	2	0	1	13
	携帯119	4	2	0	6	3	1	0	1	2	3	1	3	26
	緊急通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	その他	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
他の災害	119番	1	1	2	4	3	6	5	7	4	4	3	2	42
	携帯119	5	5	0	0	8	3	3	3	3	5	2	3	40
	緊急通報	0	2	0	0	0	1	0	1	2	2	0	1	9
	その他	4	5	4	6	11	5	8	10	6	8	11	4	82
問い合わせ	119番	48	28	25	30	40	30	27	34	28	27	29	41	387
	携帯119	38	27	26	17	17	36	52	51	16	19	32	23	354
	緊急通報	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
間違い等	119番	16	20	25	23	32	13	15	29	17	13	17	17	237
	携帯119	16	11	13	10	13	17	28	33	20	15	19	7	202
	緊急通報	3	5	1	3	4	2	5	4	3	3	7	4	44
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
訓練他	119番	10	5	6	7	11	16	12	7	17	16	37	11	155
	携帯119	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	5
	緊急通報	1	2	5	0	0	3	0	1	1	1	31	4	49
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	119番	373	319	312	306	332	263	334	336	290	334	360	370	3,929
	携帯119	202	152	137	135	132	168	220	230	132	159	170	173	2,010
	緊急通報	7	12	10	5	4	8	7	9	6	9	42	11	130
	その他	9	10	15	11	19	13	15	24	9	14	17	13	169

管轄区域別消防水利現況

(平成26年4月1日現在)

種 別		管 轄					合計	
		消防署	錦田分遣所	中郷分遣所	北分遣所	北上分遣所		
公設消火栓計		269	278	263	274	236	1,320	
公設防火水槽	耐震	40m ³ 未満	0	0	0	0	0	
		40m ³ 以上	26	41	32	28	32	159
		100m ³ 以上	3	0	0	3	0	6
	計		29	41	32	31	32	165
	非耐震	40m ³ 未満	5	6	6	2	3	22
		40m ³ 以上	12	23	4	9	3	51
		100m ³ 以上	0	0	0	0	0	0
	計		17	29	10	11	6	73
	公設防火水槽計		46	70	42	42	38	238
	その他の水利	プ ー ル	3	4	6	6	3	22
河 川							0	
池		1			1		2	
計		4	4	6	7	3	24	
合計		319	352	311	323	277	1,582	

予 防



防火対象物調

(平成26年4月1日現在)

防火対象物		区分	法第17条 防火対象物	法第8条 防火対象物
1	イ	劇場、映画館、演劇場、観覧場	2	2
	ロ	公会堂、集会場	55	51
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ	0	0
	ロ	遊技場、ダンスホール	13	13
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	0	0
	ニ	カラオケボックス等	3	2
3	イ	待合、料理店	0	0
	ロ	飲食店	81	70
4		百貨店、マーケット	114	87
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	19	19
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	1324	145
6	イ	病院、診療所、助産所	80	39
	ロ	養老施設、児童福祉施設	27	24
	ハ	保育園等	46	31
	ニ	幼稚園	19	14
7		小、中、高、大学校、各種学校	130	33
8		図書館、博物館	4	4
9	イ	熱気浴場、蒸気浴場	1	1
	ロ	その他公衆浴場	4	2
10		車両の停車場	6	2
11		神社、寺院、教会	80	17
12	イ	工場、作業所	474	55
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0	0
13	イ	自動車車庫	20	0
	ロ	飛行機格納庫	0	0
14		倉庫	106	0
15		前各項に該当しない事業所	216	93
16	イ	特定用途複合用途防火対象物	414	180
	ロ	その他の複合用途防火対象物	139	13
計			3377	897

地上4階以上の建築物の現況

(平成26年4月1日現在)

用途別		階別棟数	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	棟合計
1	イ	劇場、映画館									
	ロ	公会堂、集会場	2								2
2	イ	キャバレー									
	ロ	遊技場		1							1
	ハ	性風俗店									
	ニ	カラオケボックス等									
3	イ	待合、料理店									
	ロ	飲食店	4								4
4		店舗	4								4
5	イ	旅館、ホテル		3	2	1				3	9
	ロ	共同住宅	73	23	17	5	4	4	5	8	139
6	イ	病院、診療所	6	1	2						9
	ロ	養老施設	2	1							3
	ハ	保育園等									
	ニ	幼稚園									
7		学校、各種学校	26	9	4	1					40
8		図書館、博物館									
9	イ	熱気浴場									
	ロ	その他公衆浴場									
10		車輛の停車場									
11		神社、寺院									
12	イ	工場、作業所	9	3							12
	ロ	テレビスタジオ									
13	イ	自動車車庫	2	1	2						5
	ロ	飛行機格納庫									
14		倉庫									
15		その他の事業所	24	9	2	1		1			37
16	イ	特定複合	85	28	13	5	3		3	3	140
	ロ	特定以外複合	14	12	5	2	1	1	1		36
棟 合 計			251	91	47	15	8	6	9	14	441

工事別、月別建築確認同意件数

(平成25年度)

月別 工事種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新築	19	15	9	23	29	18	13	13	16	15	18	10	198
増築		1	1		1	1		3	1	1	1	2	12
改築	1							1					2
移転													
修繕													
模様替え													
用途変更													
その他													
計	20	16	10	23	30	19	13	17	17	16	19	12	212

火災予防条例にもとづく届出及び検査件数

(平成25年度)

区 分	届 出 件 数	
	平成25年度	平成24年度
ボイラー等	11	14
変電・発電・蓄電設備	36	24
火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為	65	77
煙火の打上	27	25
催物の開催	1	1
道路工事	133	112
少量危険物及び指定可燃物	14	25
禁止行為の解除承認	26	29

危険物製造所等規制事務申請件数

(平成25年度)

製造所等の別 区分		総 数	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				
				小 計	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油	販 売	一 般
許 可	設 置	4		2				2				2	1		1
	変 更	7		2	1			1				5	3		2
計		11	0	4	1	0	0	3	0	0	0	7	4	0	3
完 成	設 置	2										2	1		1
	変 更	6		2	1			1				4	3		1
計		8	0	2	1	0	0	1	0	0	0	6	4	0	2
仮 使 用		5						1					3		1

危険物貯蔵タンク水圧及び水張検査取扱い件数

(平成25年度)

区分	タンク 容 量	1,000ℓ 未満	1,000ℓ 以上 3,000ℓ 未満	3,000ℓ 以上 6,000ℓ 未満	6,000ℓ 以上 10,000ℓ 未満	10,000ℓ 以上	計
	水 圧 検 査						
水 張 検 査		5	4	5	5	5	24

危険物製造所等施設数

(平成26年4月1日現在)

製造所等の別 区分	総 数	製造所	貯蔵								取扱			
			小 計	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油	販 売	一 般
5倍以下	56		55	16	3	3	20	2	9	2	1			1
5倍を超えて 10倍以下	45		27	12	4		11				18	5		13
10倍を超えて 50倍以下	24		11	6			4		1		13	10		3
50倍を超えて 100倍以下	5		4	3			1				1	1		
100倍を超えて 150倍以下	2		0								2	2		
150倍を超えて 200倍以下	6		1				1				5	5		
200倍を超えて 1000倍以下	12		0								12	12		
計	150	0	98	37	7	3	37	2	10	2	52	35	0	17

協 力 団 体

三 島 市 防 火 協 会

平成16年4月1日 設立

事業所における防火管理及び危険物等の保安管理の向上を図り、火災等の災害防止活動を推進するとともに、消防機関と密接な連絡を保ち、もって事業の健全なる振興発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

会 員 数 253 事業所 (平成26年4月1日現在)

◎ 主な事業

- 1 幼年消防クラブの指導育成
- 2 子供会・幼稚園・保育園を対象に正しい花火の使い方教室
- 3 消火器消火競技及び屋内消火栓操法大会
- 4 甲種防火管理新規講習の後援
- 5 危険物安全週間
 - (1) ポスター、要綱の配布
 - (2) 横断幕等の設置
 - (3) 街頭広報
- 6 危険物取扱者特別講習会
- 7 危険物運搬車両及びLPガス運搬車両検査
- 8 危険物施設定期点検記録簿検査
- 9 秋の火災予防運動
 - (1) ポスター、要綱の配布
 - (2) 街頭広報
 - (3) 小・中学生による防火ポスター・書写の制作、展示及び表彰
- 10 春の火災予防運動
 - (1) ポスター、要綱の配布
 - (2) 街頭広報

育 成 団 体

三島市幼年消防クラブ 平成14年4月1日 設立

三島市内の保育園及び幼稚園の園児が幼年期から消防への関心を高め、将来人命を尊重し、財産の保全を図ることができる社会人としての素地を育てることを目的とする。

三島市幼年消防クラブ数

私立保育園 10園

私立幼稚園 6園

公立保育園 6園

公立幼稚園 12園

組合立保育園 1園

計 35園

クラブ員数 980人 (平成26年4月1日現在)

◎ 主な事業

- 1 全国危険物安全週間に伴う街頭広報
- 2 防火ポスターの制作、展示及び表彰
- 3 正しい花火の使い方教室
- 4 春、秋の火災予防運動に伴う街頭広報
- 5 消防出初式防火パレードへの参加
- 6 消防訓練の実施

火災統計



火 災 状 況

消防予防課

平成25年中における火災件数は39件で、前年に比べると8件の増加となりました。

火災種別では、建物火災が25件（前年より4件の増）で全火災件数の64%と最も高い比率を占めています。

車両火災は4件（前年より3件の増）で10%、林野火災は0件（前年より2件減）、その他の火災は10件（前年より3件の増）で26%となっています。

損害状況は建物焼損床面積618㎡、建物焼損表面積33㎡で、前年より焼損床面積では227㎡の増加、焼損表面積は21㎡の減少となりました。

また、損害額は54,382千円で、前年より38,470千円の増加となりました。

この10年間でみると、火災件数は平均値で、建物火災の発生件数は横ばいの状態です。

損害額は10年間の平均を下まわり、火災による死者は無く、負傷者は6人で前年より1人減少しています。

出火原因の第1位は「放火、放火の疑い」で7件、続いて「たばこ」3件、「コンロ」3件、「ストーブ」3件の順となっています。

平成21年6月1日から既存住宅を含む全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されました。

平成22年12月に市内全世帯を対象として実施した設置率調査では61.6%の設置率でした。

平成25年5月に実施した市民意識調査、及び11月に実施した消防フェア来場者アンケート調査での平均設置率は69.6%です。

充足率は、当初目標の80%を超えていない状況であり、平成26年も引き続き、住宅用火災警報器設置促進に努め、住宅火災による犠牲者の発生を防ぐことを目指し、住宅防火対策の推進を図っていく所存です。

月 別 火 災 発 生 状 況

(平成 25 年中)

区 分 月 別	火 災 件 数					焼 損 棟 数				建物・林野焼損面積			死 傷 者		り 災 世 帯	り 災 人 員	気 象 状 況				損 害 見 積 額 (千円)					
	総 数	種 別				総 数	焼 損 区 分				建 物		林 野 (a)	死 者			負 傷 者	風 速		湿 度		建 物	林 野	車 両	そ の 他	計
		建 物	林 野	車 両	そ の 他		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	床 面 積 (㎡)	表 面 積 (㎡)						七 m 未 満	七 m 以 上	40 % 未 満	40 % 以 上					
1	2	2				3	1		1	1	18				1	2	2		2	228				228		
2	2	2				2				2	1				1	1		2	2	1,010				1,010		
3	3	2			1	2	1			1	192				1	4	2	1	3	12,670				12,670		
4	3	3				4				4		1			1	3	9	3	2	1	3			3		
5	4	3			1	3		1		2	170				1	1	4		4	25,074			1	25,075		
6	1				1	0											1		1					0		
7	1	1				1			1		19				1	2	1		1	219				219		
8	9	5		2	2	6	1		4	1	68	21			2	2	8	9	1	8	6,147		699	6,846		
9	1	1				1				1					1	1	2	1		1				0		
10	5	2		1	2	2	1		1		41	9					4	1		5	3,302		45	128	3,475	
11	6	4		1	1	5	1		2	2	109	2			1	3	4	5	1	6	4,586		25	4,611		
12	2				2	0											2			2	210			35	245	
計	39	25	0	4	10	29	5	1	9	14	618	33			6	14	33	34	5	3	36	53,449	0	769	164	54,382
昨年	31	21	2	1	7	25	3	1	14	7	391	54	18	2	7	16	44	29	2	3	28	15,461	0	215	236	15,912
増減	8	4	△2	3	3	4	2	0	△5	7	227	△21	△18	△2	△1	△2	△11	5	3	0	8	37,988	0	554	△72	38,470

※ △は減

時間別火災状況

(平成 25 年中)

時 間 区 分	火 災 件 数				焼 失 面 積			損害見積額 (千円)
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	家 屋		林 野 (a)	
					床面積 (m ²)	表面積 (m ²)		
0～1	1			1				87
1～2				1				80
2～3	1				15			962
3～4	1				10	11		3,090
4～5	1				15			2,514
5～6								
6～7								
7～8								
8～9	1			1				1,001
9～10	2		1					519
10～11	2			2	1			14
11～12	3				11			117
12～13								
13～14	1					1		12
14～15	3		1	1	75	2		2,149
15～16	3				199	9		14,383
16～17	1		1	2	43	10		2,128
17～18								
18～19								
19～20	2		1	1	79			2,280
20～21								
21～22	1							
22～23	1			1	170			25,046
23～24								
不 明	1							
計	25	0	4	10	618	33		54,382

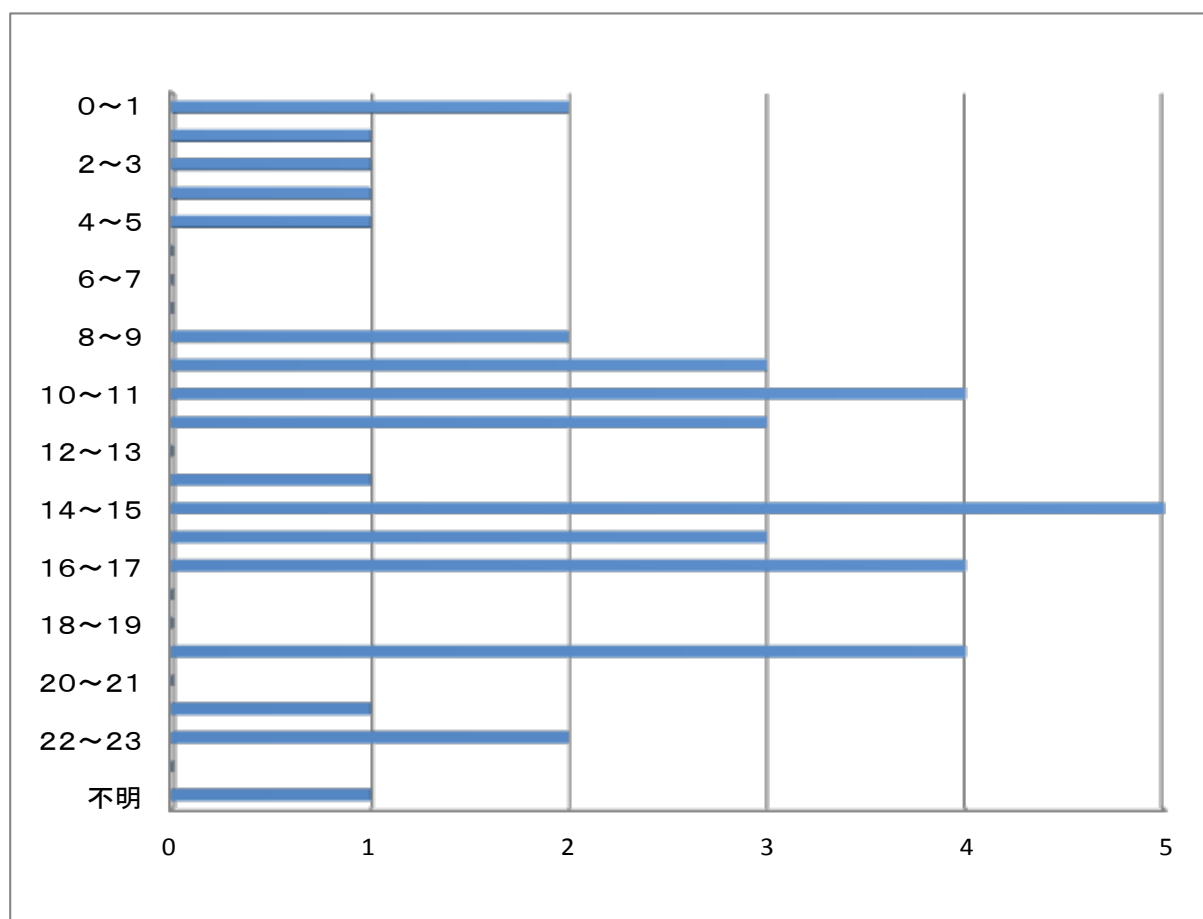
曜日別・時間別火災件数

(平成 25 年中)

曜日別

合計	日	月	火	水	木	金	土	不明
39	8	9	5	5	3	4	5	

時間別

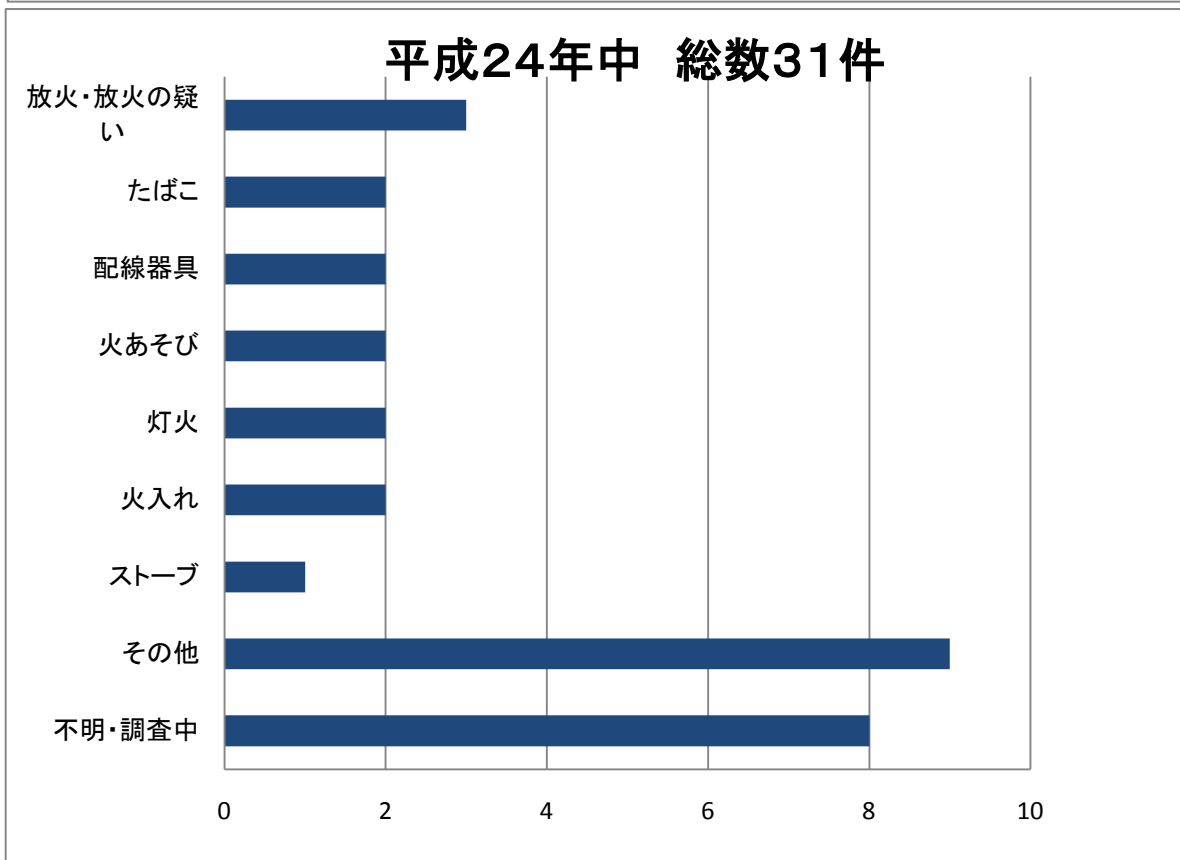
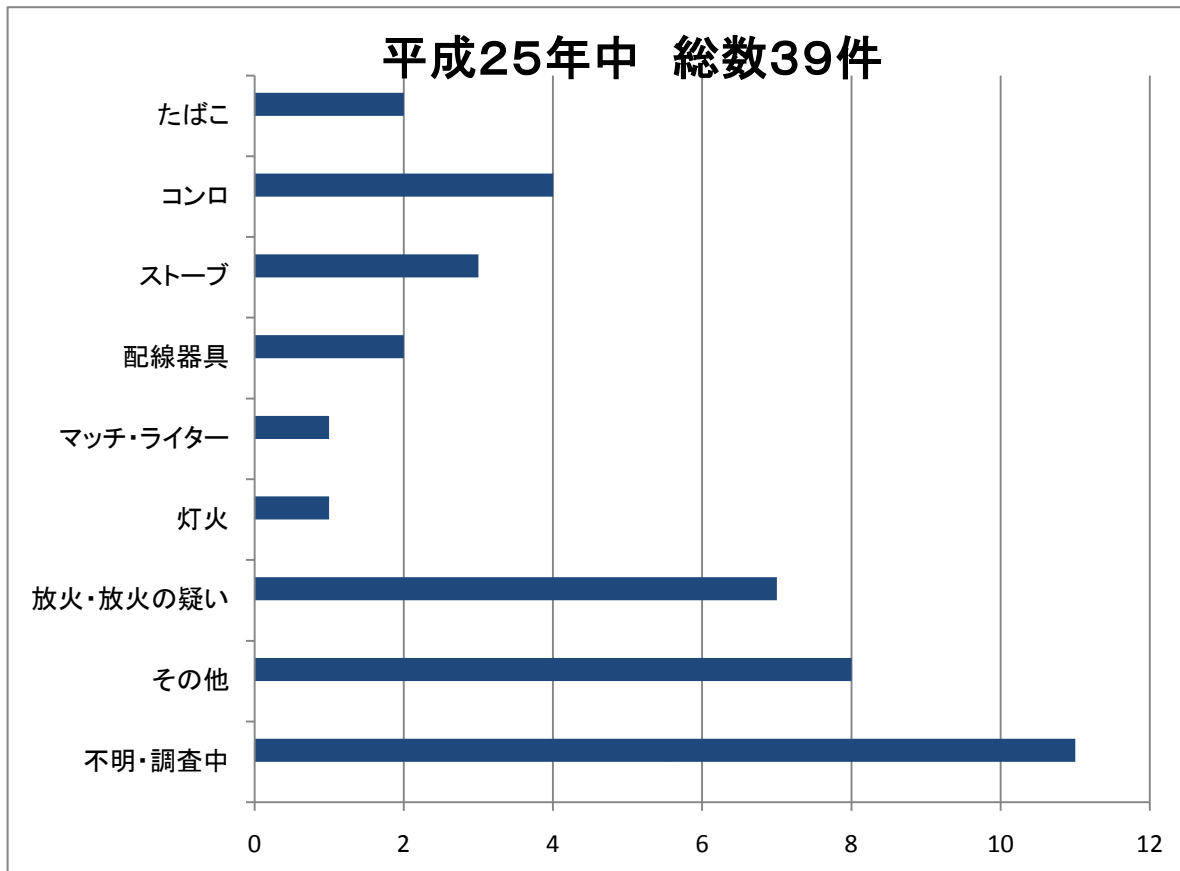


原因別火災種別及び損害見積額

(平成 25 年中)

原因別 区分	火 災 件 数				焼 失 面 積			損害見積額 (千円)
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	家 屋		林 野 (a)	
					床面積 (m ²)	表面積 (m ²)		
たばこ			1	1				25
こんろ	4				1			13
かまど								
風呂かまど								
炉								
焼却炉								
ストーブ	3				259	2		14,296
こたつ								
ボイラー								
煙突・煙道								
排気管								
電気機器								
電気装置								
電灯・電話等の配線	1			1				5
内燃機関								
配線器具								
火あそび								
マッチ・ライター	1				7			141
たき火								
溶接機・切断機								
灯火								
衝突の火花								
取灰								
火入れ				1				
放火	2			1				494
放火の疑い	2			2	41			1,819
その他	6			2	213	20		29,778
不明・調査中	6		3	2	97	11		7,811
合計	25		4	10	618	33	0	54,382

原因別火災発生状況



平成25年中の火災概況と前年との比較

区 分		平成25年	平成24年	前年との増減
出 火 件 数	計	39件	31件	8件
	建 物	25件	21件	4件
	林 野	0件	2件	△2件
	車 両	4件	1件	3件
	そ の 他	10件	7件	3件
焼 損 棟 数	計	29棟	25棟	4棟
	全 焼	5棟	3棟	2棟
	半 焼	1棟	1棟	0棟
	部 分 焼	9棟	14棟	△5棟
	ぼ や	14棟	7棟	7棟
焼 損 面 積				
建 物	床 面 積	618㎡	391㎡	227㎡
	表 面 積	33㎡	54㎡	△21㎡
林野焼損面積		0a	18a	△18a
死 者		0人	2人	△2人
負 傷 者		6人	7人	△1人
り 災 世 帯 数		14世帯	16世帯	△2世帯
り 災 人 員		33人	44人	△11人
損 害 額	計	54,382千円	15,912千円	38,470千円
	建 物	53,449千円	15,461千円	37,988千円
	林 野	0千円	0千円	0千円
	車 両	769千円	215千円	554千円
	そ の 他	164千円	236千円	△72千円
主 な 原 因		放火・放火の疑い 7件 たばこ 3件 こんろ 3件 ストーブ 3件	放火・放火の疑い 3件 配線器具 3件 たばこ 2件 こんろ 2件	

※ △は減

出火原因別前年比較

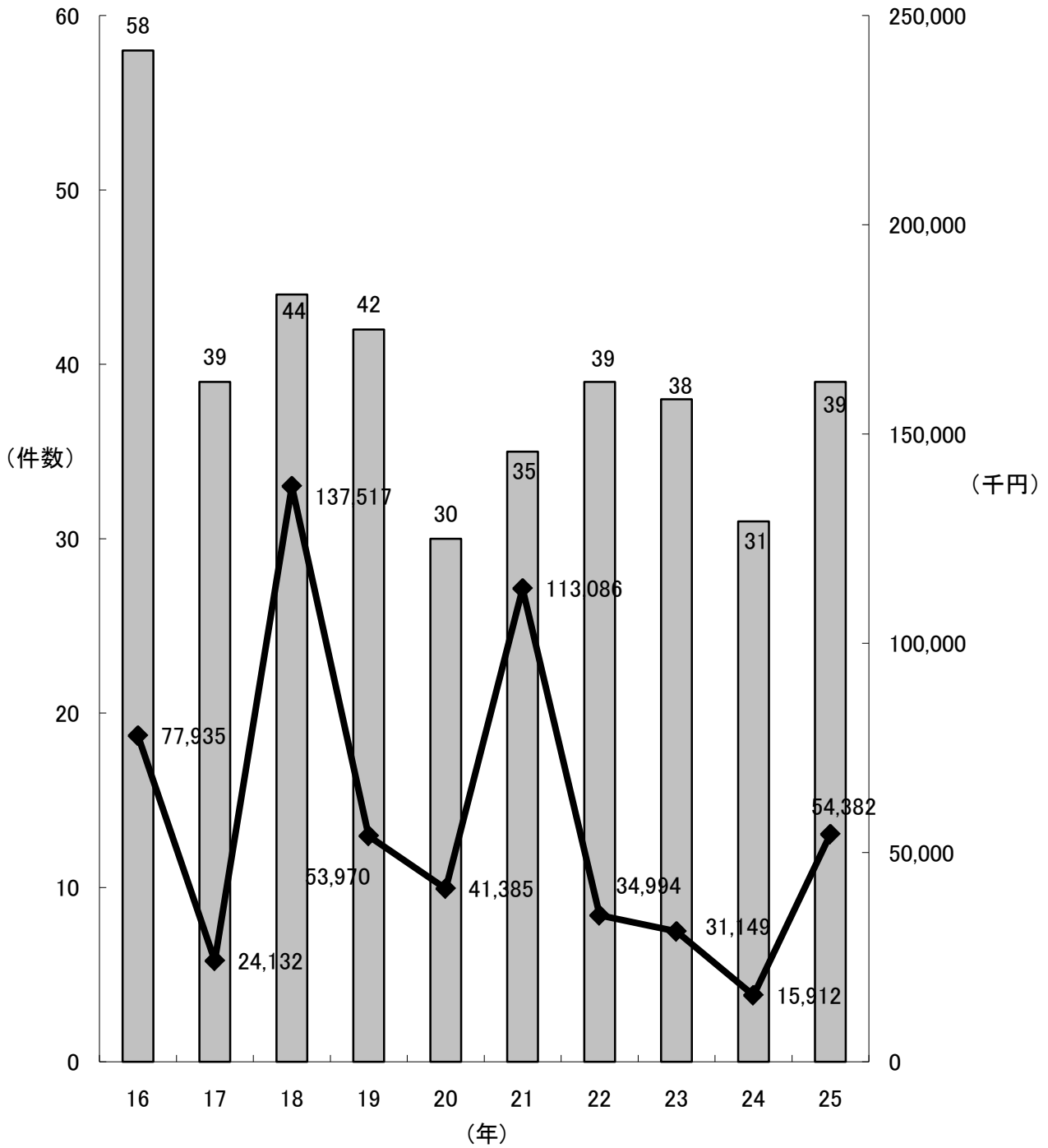
原 因 別	平成25年	平成24年	増 減
たばこ	3 件	2 件	1 件
こんろ	3 件		3 件
かまど			
風呂かまど			
炉			
焼却炉			
ストーブ	3 件	1 件	2 件
こたつ			
ボイラー			
煙突・煙道			
排気管			
電気機器			
電気装置			
電灯・電話等の配線	2 件		2 件
内燃機関			
配線器具		2 件	△2 件
火あそび	1 件	2 件	△1 件
マッチ・ライター			
たき火			
溶接機・切断機			
灯 火		2 件	△2 件
衝突の火花			
取 灰			
火 入 れ	1 件	2 件	△1 件
放 火	3 件	2 件	1 件
放火の疑い	4 件	1 件	3 件
そ の 他	6 件	9 件	△3 件
不明・調査中	13 件	8 件	5 件
合 計	39 件	31 件	8 件

※ △印は減

過去 10 年間の火災発生状況

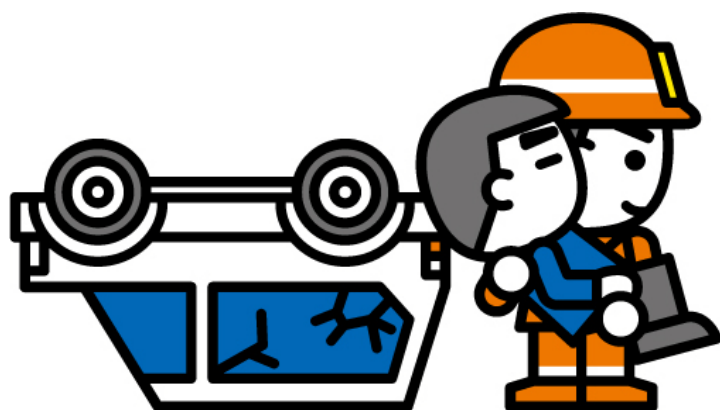
区分 年	火災 件数	焼損 棟数	世り 帯 数災	死 者	傷 者	焼 損 面 積			損 害 額 (千円)
						建 物		林 野 (a)	
						床面積 (㎡)	表面積 (㎡)		
16	58	36	22		12	1,399	38		77,935
17	39	19	11		3	280	34	8	24,132
18	44	29	22		7	355	31	1	137,517
19	42	39	25	6	8	1,029	49		53,970
20	30	24	14	3	4	608	24		41,385
21	35	23	10	1	5	585	31	2	113,086
22	39	43	24	2	3	900	51		34,994
23	38	19	14	2	7	314	97	1	31,149
24	31	24	13	2	7	391	54	18	15,912
25	39	29	14	0	6	618	33		54,382
平均	39.5	28.5	16.9	2.3	6.2	647.9	44.2	6	58,446.2

過去10年間の火災件数及び損害額



■ 火災件数 ◆ 損害額

救急・救助統計



救急業務概要

平成 19 年に 4,000 件を超えた三島市の救急出動件数は、平成 20 年から 2 年続けて減少しましたが、平成 22 年からは増加傾向となり、平成 25 年の救急業務活動状況では、出動件数 4,425 件（前年比 75 件増）、搬送人員 3,938 人（前年比 6 人減）と、搬送人員は同程度、出動件数は過去最高となりました。

これは 1 日平均 12.1 の出動となり、市民 26 人に 1 人の割合で救急車を利用したことになります。

事故種別ごとにみると、第 1 位は「急病」で 2,700 件、第 2 位は「一般負傷」626 件、第 3 位以下では「その他（転院搬送等）」506 件、「交通事故」393 件の順となり、「急病」が全体の 61%を占めています。

このうち、救急車で搬送された傷病者の中で入院を必要とせずに即日帰宅された軽症者は、全体の 43.3%に当たる 1,704 人で、昨年の 45.9%と比べると減少し、全国平均の 50%と比べても少ない割合になっており、市民の皆様には救急車の適正な利用について御理解を頂いてきていると思われれます。

また、平成 22 年 7 月から全国初の試みとして、コンビニエンスストア、ファミリーレストランなど 24 時間営業の店舗に AED を設置する「あんしん AED ステーション 24 事業」を開始し、現在 42 店舗の協力をいただき設置をしております。

これにより、公共施設 59 箇所、「あんしん AED ステーション」登録事業所 110 箇所と合わせ三島市内では 200 箇所を超える施設に AED が設置されています。

もしもの時、設置された AED が適切・有効に使用されるように、応急手当普及員の養成や各種救命講習の内容を充実させるなど、応急手当の普及啓発に努め安全で安心なまちづくりを推進してまいります。

月別出場件数および搬送人員

(平成25年中)

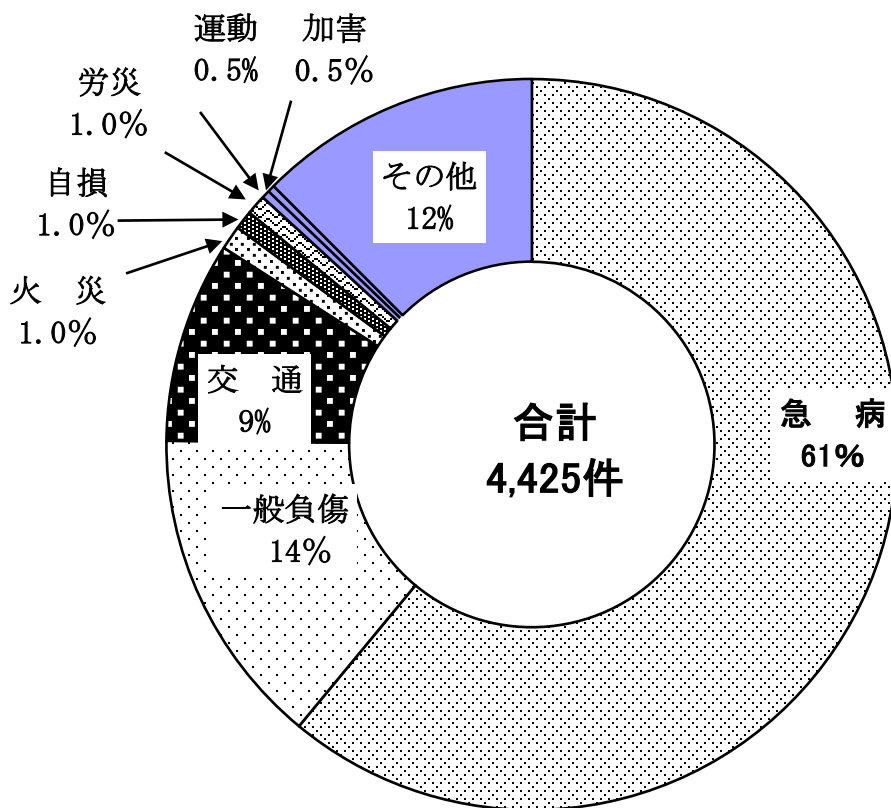
月別	種別 区分	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般負傷	加害	自損	急病	その他	計
1月	出場件数	5			29	7	1	58		4	279	48	431
	搬送人員				29	7	1	54		1	245	43	380
2月	出場件数	6			39	3		36	4	1	242	37	368
	搬送人員				45	3		32	3	1	206	34	324
3月	出場件数	6			27	2	1	62	1		210	41	350
	搬送人員	1			24	1	1	57	1		190	40	315
4月	出場件数	2			29	4	1	50	1	5	186	59	337
	搬送人員	1			29	3	1	43	1	5	171	52	306
5月	出場件数	4			32	4		44	1	4	201	53	343
	搬送人員				31	4		39	1	3	178	49	305
6月	出場件数	1			31	3	2	53		5	179	36	310
	搬送人員				29	3	2	47		4	158	31	274
7月	出場件数	1			38	2	3	57		4	249	46	400
	搬送人員				33	2	3	51		4	217	43	353
8月	出場件数	7			42	4	1	39	1	5	245	47	391
	搬送人員				40	4	1	37	1	3	221	41	348
9月	出場件数	1			36	1	4	40	2	1	186	31	302
	搬送人員	1			37	1	4	38	2	1	163	29	276
10月	出場件数	7			26	3	1	54	1	3	242	53	390
	搬送人員				28	3	1	48		2	213	48	343
11月	出場件数	5			28	1	1	68	2	3	209	55	372
	搬送人員	3			29	1	1	61	2	3	180	53	333
12月	出場件数	2			36	5	1	66	1	2	271	47	431
	搬送人員				32	5	1	63	2	2	233	43	381
合計	出場件数	47			393	39	16	627	14	37	2,699	553	4,425
	搬送人員	6			386	37	16	570	13	29	2,375	506	3,938

出場件数及び搬送人員の前年との比較

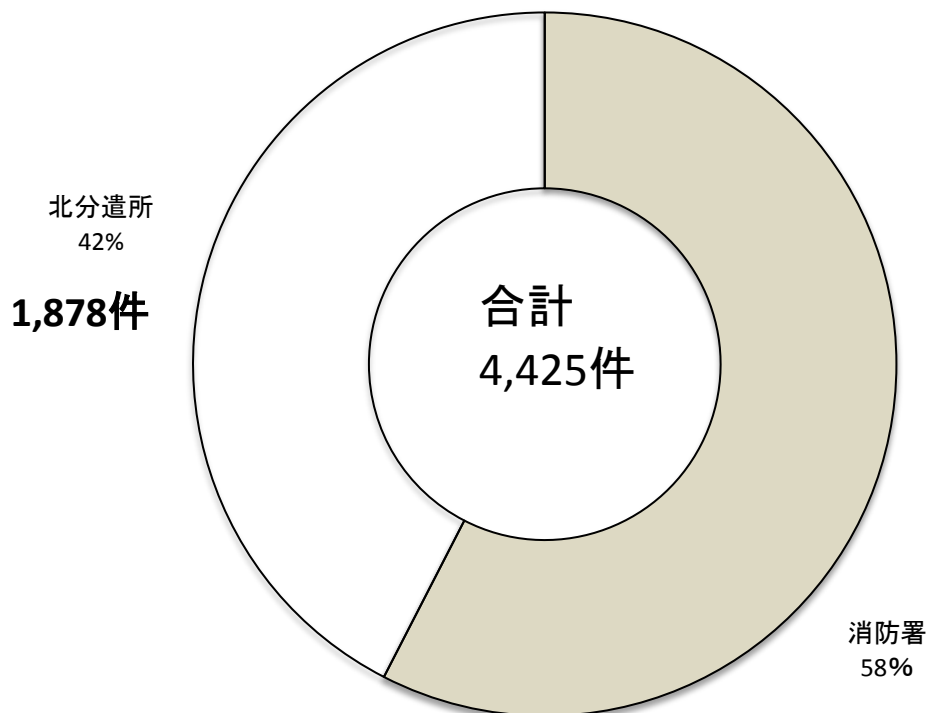
月別	区分	平成25年中		計
		消防署	北分遣所	
1	出場件数	245	186	431
	搬送人員	216	164	380
2	出場件数	209	159	368
	搬送人員	183	141	324
3	出場件数	207	143	350
	搬送人員	189	126	315
4	出場件数	197	140	337
	搬送人員	177	129	306
5	出場件数	194	149	343
	搬送人員	175	130	305
6	出場件数	172	138	310
	搬送人員	159	115	274
7	出場件数	231	169	400
	搬送人員	207	146	353
8	出場件数	234	157	391
	搬送人員	210	138	348
9	出場件数	176	126	302
	搬送人員	163	113	276
10	出場件数	231	159	390
	搬送人員	205	138	343
11	出場件数	199	173	372
	搬送人員	181	152	333
12	出場件数	252	179	431
	搬送人員	229	152	381
合計	出場件数	2,547	1,878	4,425
	搬送人員	2,294	1,644	3,938

月別	区分	平成24年中		計
		消防署	北分遣所	
1	出場件数	247	182	429
	搬送人員	219	163	382
2	出場件数	207	161	368
	搬送人員	190	141	331
3	出場件数	195	161	356
	搬送人員	175	148	323
4	出場件数	194	151	345
	搬送人員	180	141	321
5	出場件数	194	124	318
	搬送人員	182	107	289
6	出場件数	182	150	332
	搬送人員	169	126	295
7	出場件数	209	130	339
	搬送人員	197	119	316
8	出場件数	213	162	375
	搬送人員	190	140	330
9	出場件数	207	136	343
	搬送人員	194	120	314
10	出場件数	202	168	370
	搬送人員	188	150	338
11	出場件数	197	148	345
	搬送人員	184	140	324
12	出場件数	249	181	430
	搬送人員	228	153	381
合計	出場件数	2,496	1,854	4,350
	搬送人員	2,296	1,648	3,944

平成25年中の救急出動件数



消防署と北分遣所との出場件数比較



時間別救急出場件数調

(平成25年中)

種別 区分		火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般負傷	加害	自損	急病	その他	計
		0-2	5			6			26	2	2	168	12
2-4	3			13			15	3	5	116	6	161	
4-6	1			9	1		14	1		131		157	
6-8				40	2		41	1	2	234	6	326	
8-10	3			49	1	4	76	1	3	324	63	524	
10-12	8			46	11	5	80		3	268	108	529	
12-14	1			44	11	4	79	1	2	300	116	558	
14-16	11			45	5	1	63		4	228	62	419	
16-18	4			52	4		72		3	223	72	430	
18-20	4			42	3	1	54	2	1	252	49	408	
20-22	3			32	1	1	56	1	6	238	43	381	
22-24	4			15			51	2	6	217	16	311	
合計	47	0	0	393	39	16	627	14	37	2,699	553	4,425	

時間別救急搬送人員調

(平成25年中)

種別 区分		火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般負傷	加害	自損	急病	その他	計
		0-2				5			21	2	2	142	7
2-4				13			14	3	4	100	4	138	
4-6	1			9	1		12	1		111		135	
6-8				39	2		35	1	2	207	2	288	
8-10	2			50	1	4	71		2	297	59	486	
10-12	1			53	11	5	76		2	236	103	487	
12-14				39	10	4	70		1	265	111	500	
14-16	2			44	5	1	56		3	206	57	374	
16-18				51	4		68		2	199	67	391	
18-20				41	2	1	51	2	1	212	46	356	
20-22				30	1	1	51	1	5	213	38	340	
22-24				12			45	3	5	187	12	264	
合計	6	0	0	386	37	16	570	13	29	2,375	506	3,938	

事故種別傷病程度別救急搬送人員調

(平成25年中)

種 別 \ 程 度	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計
火 災			2	4		6
自 然 災 害						0
水 難						0
交 通		12	68	305	1	386
労 災		3	12	22		37
運 動		1	2	13		16
一 般 負 傷	7	46	193	324		570
加 害		1	3	9		13
自 損	4	3	12	10		29
急 病	69	292	1,026	988		2,375
そ の 他		97	363	46		506
計	80	455	1,681	1,721	1	3,938



救急業務開始以来の救急活動状況

(昭和42年3月28日から救急業務を開始)

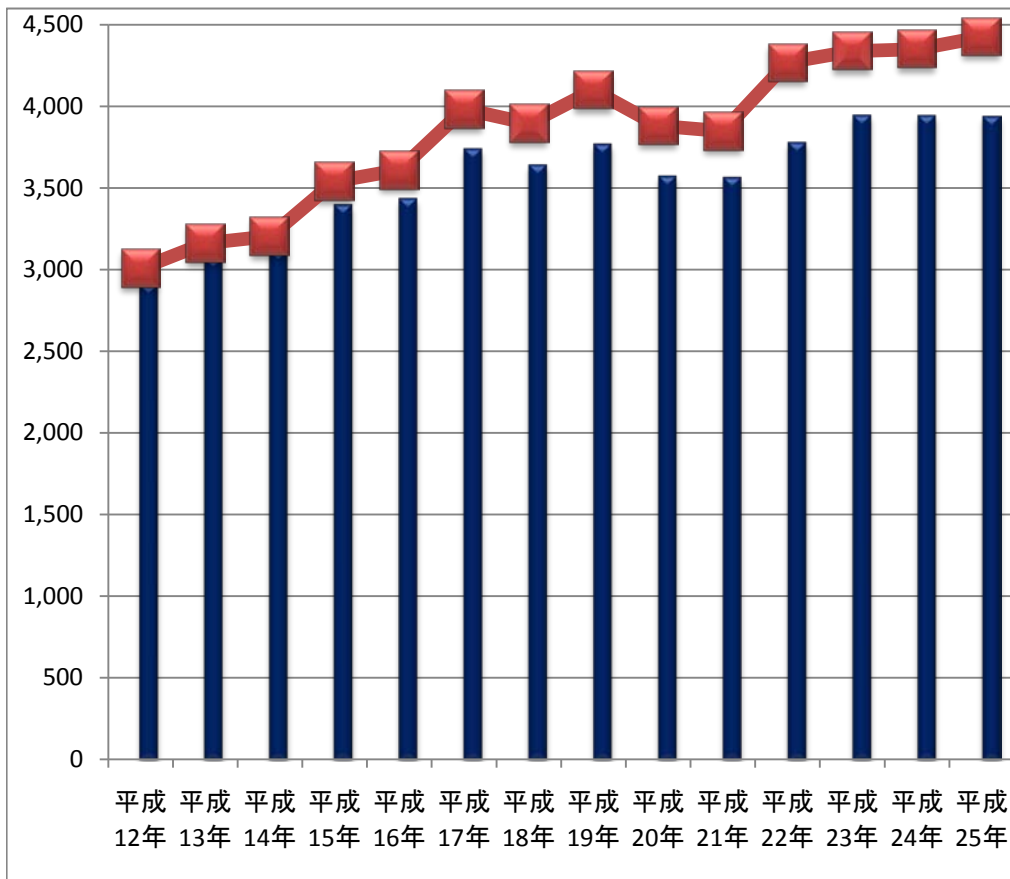
年別 区分	昭和 42年	43年	44年	45年	46年	47年	48年	49年	50年
出場件数	306	595	732	666	695	765	1,058	1,107	1,179
搬送人員	314	615	733	686	663	758	1,061	1,081	1,150

51年	52年	53年	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年
1,186	1,284	1,208	1,359	1,444	1,574	1,533	1,562	1,667	1,676
1,142	1,274	1,215	1,345	1,461	1,534	1,541	1,561	1,652	1,632

61年	62年	63年	平成 元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
1,786	1,791	2,001	1,966	2,047	1,921	2,075	2,094	2,197	2,450
1,793	1,747	1,982	1,947	2,047	1,912	2,065	2,107	2,202	2,424

8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
2,501	2,513	2,760	2,956	3,007	3,161	3,204	3,541	3,611	3,983
2,461	2,468	2,719	2,846	2,911	3,074	3,118	3,397	3,435	3,740

18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	累計
3,895	4,099	3,881	3,849	4,269	4,338	4,350	4,425	106,267
3,642	3,768	3,572	3,564	3,778	3,945	3,944	3,938	101,964



■ 出場件数 ■ 搬送人員

PA（消防車・救急車）連携出動状況

（平成25年中）

CPA事案	救急活動支援	その他	合計
270回	144回	70回	484回

CPA（心肺停止）傷病者発生件数

（平成25年中）

搬送CPA	不搬送CPA	合計
122回	56回	178回

救命処置後の予後

（平成25年中）

社会復帰	1ヶ月生存	1週間生存
8人	1人	1人

救急隊による救命処置状況

（平成25年中）

気道確保	静脈路確保		除細動
	うち気管挿管	うち薬剤投与	
73回	1回	49回	16回
			うち消防隊実施 2回

救命講習実施状況

（平成25年中）

	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅱ	上級救命講習	合計
講習回数	62回	12回	15回	89回
受講者数	946人	193人	212人	1,351人

あんしんAEDステーション

（AED設置施設）

（平成26年4月1日現在）

市公共施設	市役所	公共施設	小中学校等	合計
	3施設	22施設	35施設	60施設

民間施設等	医療機関	事業所等	学校等	合計
	38施設	60施設	12施設	110施設

あんしんAEDステーション24

（AED設置店舗）

（平成26年4月1日現在）

24時間 営業店舗	コンビニ	飲食店	ガソリンスタンド	合計
	33店舗	6店舗	3店舗	42店舗

救助活動状況

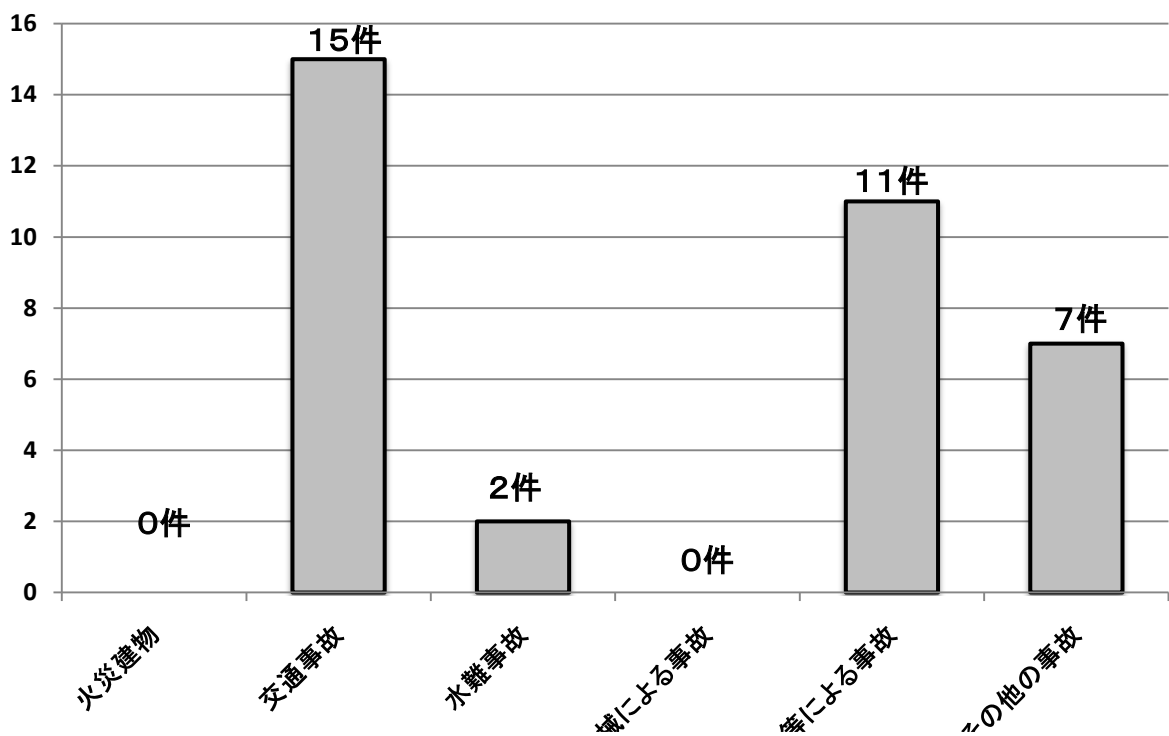
平成25年中

種別 区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
	建物	建物以外									
出動件数			15	2			11			7	35
活動件数			8	1			5			4	18
救助人員			8	1			5			4	18
出動人員			201	25			121			82	429
活動人員			68	6			33			27	134
出動車両			66	8			40			27	141
活動車両			22	2			11			9	44

救助訓練実施状況

平成25年中

訓練内容 実施	体力 練成訓練	ロープ 応用 訓練 基本	検 索 救 助 訓 練	各 種 取 扱 訓 練 具	各 種 救 助 事 象 訓 練	そ の 他 の 訓 練	合計
回数	10	60	6	7	49	2	134
人員	91	1,413	30	23	301	10	1,864
時間	19.5	144	14	8.5	67.5	2	255.5



消 防 団



消防団のあゆみ

江戸時代	消防の発祥はつまびらかでないが、葦山代官支配の当時、現在の中央町郵便局の所に問屋場があり半官半民的な火消隊や常回りと称する火の番があった。また田方郡誌によれば青物会合（青物商鳶連合会）なるものがあって消防の任に当たっていたことが記されている。
明治16年	三島の「み」の字にちなみ「み組青物火消」ができた。装備は籠吐水2台。
明治23年	町村制発布記念事業として「み組青物火消」を廃し新たに、公設1組・私設4組を編成した。 なお、同年以降2組を増設して7組とした。
大正6年	公設1組・私設7組を解散し、新たに公設5部250人の編成とした。同5部に初めて鉄骨火の見やぐらが建設された。
大正8年	大阪森田ポンプより手引ポンプ1台を購入し配置した。
大正9年	残り4組全部森田ポンプより手引きポンプ4台を購入し配置した。
大正15年	米ノーザン制30馬力手引ポンプ5台を東京報知機より一括購入し配置した。 なお、従前のポンプは廃止した。
昭和4年4月	日本ゼネラルモーターズ社より1t半トラック1台を購入し、ポンプ積載用として1部2ヶ月交代に使用した。
昭和9年3月	従前の手引きポンプ及び積載トラック1台を提供し、星加自動車にてローターポンプ自動車5台に改造した。 組織を変更して104人とした。
昭和10年4月	隣村、北上村と合併、その区域を1部の組織としたので6部129人となった。 なお、手引ポンプ1台を購入し配置した。
昭和14年2月	勅令により警防団と改称、組織変更により8ヶ分団357人となった。
昭和16年4月	隣村、錦田村と合併、市制を施行し、その区域に8ヶ分団編成したので16ヶ分団626人、ポンプ自動車5台、手引ポンプ5台、腕用ポンプ6台の編成となった。
昭和22年7月	勅命により消防団が公布されたので消防委員会を設置した。
昭和22年12月	消防組織法が公布された。
昭和23年8月	消防法が公布された。
昭和23年8月	警防団を解散し、消防団を編成した。これにより16ヶ分団470人となった。 その後一部の分団を編成替えたので18ヶ分団510人となった。
昭和29年6月	隣村、中郷村を合併、その区域の分団を4ヶ分団としたので消防団の編成は22ヶ分団600人となった。
昭和34年4月	分団を整理統合し、19ヶ分団539人の編成とした。このときの装備は、消防ポンプ自動車8台、手引ポンプ9台、小型動力ポンプ3台である。
昭和38年4月	分団の一部を統合し、18ヶ分団とした。これにより団員数537人となった。
昭和42年4月	消防団条例を全面的に改正し、併せて団員数500人とした。
昭和47年10月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第5分団に配置した。
昭和48年7月	小型動力ポンプ付積載車1台を購入し、第13分団に配置した。
昭和51年12月	積載車1台を購入し、第18分団（長伏）に配置した。
昭和52年3月	第5分団車庫、詰所新築。
昭和52年10月	第10分団車庫新築。

昭和52年10月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し、第10分団、第11分団に配置した。
昭和52年12月	第11分団車庫新築。第4分団車庫、詰所新築。
昭和52年12月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第4分団に配置した。
昭和53年 2月	第13分団車庫、詰所新築。
昭和53年 8月	第14分団車庫新築。
昭和53年10月	災害対策連絡用に携帯無線機5台を購入し、各方面隊長に貸与した。
昭和53年11月	第12分団車庫新築。
昭和53年12月	第8分団車庫、詰所新築。
昭和53年12月	小型動力ポンプ付積載車3台を購入し、第8分団、第12分団、第14分団に配置した。
昭和54年 4月	第17分団車庫、詰所新築。
昭和54年 6月	災害対策連絡用として携帯用受信機25台を購入し、団本部及び18ヶ分団に貸与した。
昭和54年 7月	第15分団車庫、詰所新築。
昭和54年 9月	第7分団車庫新築。
昭和54年 9月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し、第7分団、第15分団に配置した。
昭和54年12月	第9分団車庫新築。第18分団（御園）車庫新築。
昭和55年 1月	小型動力ポンプ付積載車1台を購入し、第9分団に配置した。
昭和55年 2月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第6分団に配置した。
昭和55年 3月	三島市消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正し、副団長を4人、本部々長を5人とした。
昭和55年 7月	小型動力ポンプ付積載車1台を購入し、第18分団（御園）に配置した。
昭和55年 7月	第16分団車庫、詰所新築。
昭和55年 8月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第16分団に配置した。
昭和56年 2月	災害対策連絡用として携帯用無線機5台を購入し、消防団本部に貸与した。
昭和56年 8月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第17分団に配置した。
昭和57年 8月	第1分団車庫、詰所新築。
昭和57年 8月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第1分団に配置した。
昭和57年 9月	積載車1台を購入し、第18分団に配置した。
昭和57年10月	第18分団（松本）車庫、詰所新築。
昭和58年10月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第2分団に配置した。
昭和58年11月	積載車1台を購入し、第13分団に配置した。
昭和59年 5月	田方支部消防操法大会のポンプ車操法の部で、第17分団が優勝。
昭和59年 8月	第3分団車庫、詰所新築。
昭和59年10月	第6分団車庫、詰所新築。
昭和60年 9月	第18分団（長伏）詰所増築。

昭和60年10月	第13分団詰所増築。
昭和60年11月	第5分団車庫増築。
昭和60年11月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第5分団に配置した。
昭和60年12月	第10分団車庫、詰所新築。
昭和61年 6月	第14分団車庫、詰所新築。
昭和61年12月	第8分団車庫、詰所新築。
昭和61年12月	三島市消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正し、本部々長を7人とした。
昭和62年 2月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第17分団に配置した。
昭和62年 7月	第12分団車庫、詰所新築。
昭和62年11月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第3分団に配置した。
昭和63年12月	第11分団車庫、詰所新築。
平成 元年 2月	災害対策連絡用として携帯用受信機20台を購入し、18ヶ分団に貸与した。 (第18分団は、松本・長伏・御園)
平成 元年 2月	第2分団詰所増築。
平成 2年10月	小型動力ポンプ付積載車1台を更新し、第18分団(長伏)に配置した。
平成 3年 5月	田方支部消防操法大会のポンプ操法の部で第16分団が優勝、小型ポンプの部で第13分団が優勝。
平成 3年 9月	平成2年9月15日、集中豪雨により大場川水系の国土保全に尽した功績により内閣総理大臣表彰を受けた。
平成 3年10月	小型動力ポンプ付積載車2台を更新し、第10分団、第11分団に配置した。
平成 3年10月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第4分団に配置した。
平成 4年12月	小型動力ポンプ付積載車3台を更新し、第8分団、第12分団、第14分団に配置した。
平成 6年 2月	小型動力ポンプ付積載車3台を更新し、第7分団、第9分団、第15分団に配置した。
平成 6年 3月	消防用施設用地(三島市中287-5第9分団)150.09㎡を購入した。
平成 6年11月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第6分団に配置した。
平成 8年 2月	小型動力ポンプ付積載車1台を更新し、第18分団(御園)に配置した。
平成 8年 3月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第16分団に配置した。
平成 9年 2月	第18分団(長伏)車庫、詰所及びホース乾燥塔新築。
平成 9年 3月	第6分団車庫、詰所を新築(東分遣所と同一建物)。
平成 9年 3月	小型動力ポンプ付積載車1台を更新し、第18分団(松本)に配置した。
平成 9年 3月	第17分団車庫、詰所新築。
平成 9年12月	小型動力ポンプ付積載車1台を更新し、第13分団に配置した。
平成 9年12月	第14分団ホース乾燥塔新築。
平成10年 1月	消防ポンプ自動車2台を更新し、第1分団、第2分団に配置した。
平成10年 1月	箱根山組合から寄贈を受けた山林パトロール車を消防団本部に配置した。

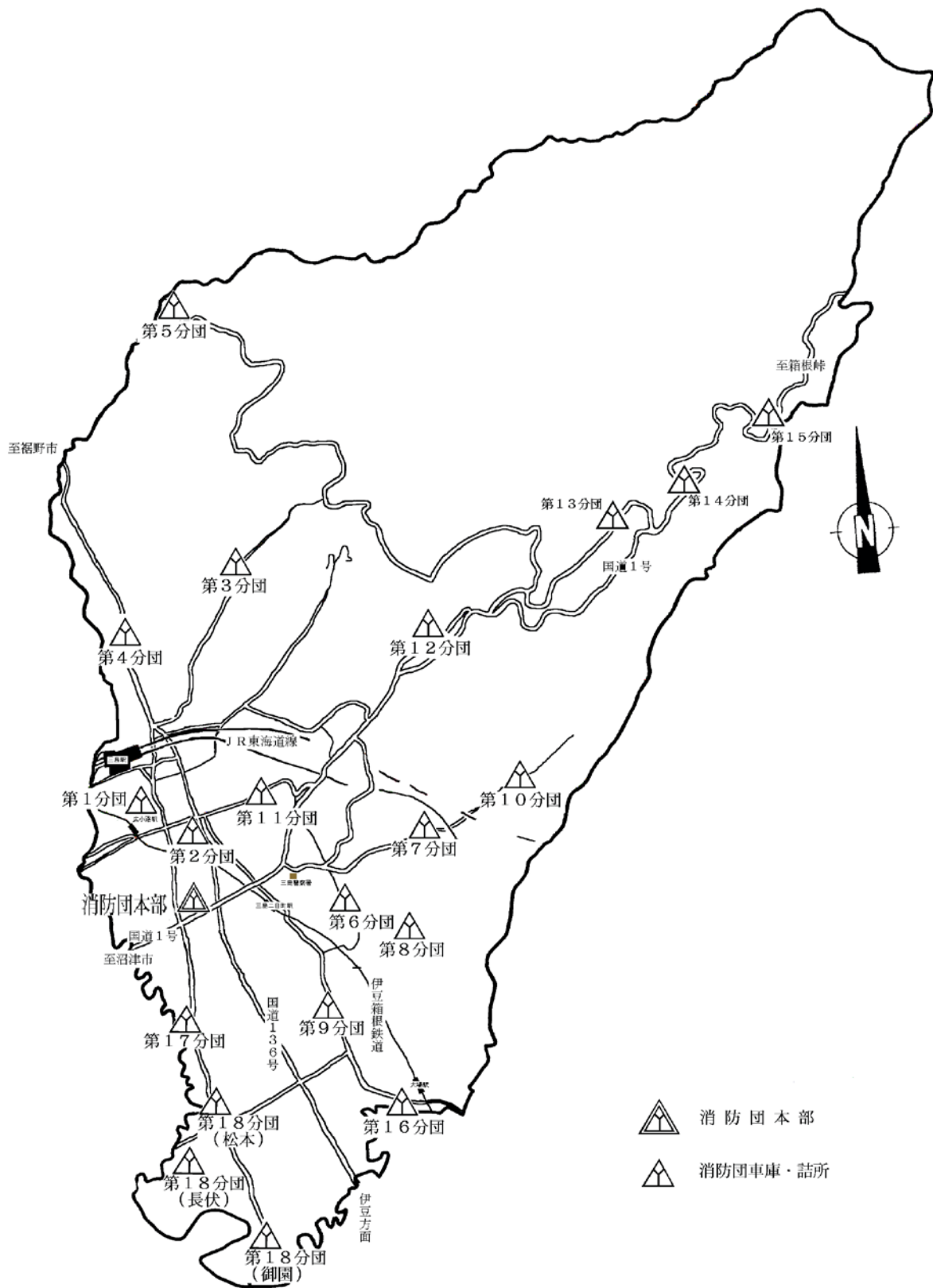
平成10年4月	第15分団を休団とした。
平成11年11月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第5分団に配置した。
平成12年2月	第3分団ホース乾燥塔新築。
平成12年10月	第9分団、第13分団ホース乾燥塔新築。
平成13年11月	消防ポンプ自動車1台を更新して、第3分団に配置した。
平成13年12月	消防ポンプ自動車1台を更新して、第17分団に配置した。
平成16年11月	小型動力ポンプ付積載車1台を更新し、第18分団長伏に配置した。
平成18年2月	小型動力ポンプ付積載車1台を更新し、第10分団、第11分団に配置した。
平成18年9月	三島市消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正し、団本部を三島市南田町4番40号に変更した。
平成18年11月	小型動力ポンプ付積載車3台を更新し、第8分団、第12分団、第14分団に配置した。
平成19年3月	第18分団（御園）車庫、詰所及びホース乾燥塔新築。
平成19年4月	三島市消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正し、団本部に部長、班長、団員の階級を増設、定員を20人増とし、女性消防団員10人が入団した。また、第12分団及び第15分団の定員をそれぞれ10人減とした。
平成20年2月	第13分団車庫、詰所及びホース乾燥塔新築。
平成21年2月	第4分団車庫、詰所新築
平成21年10月	第7分団車庫、詰所新築
平成22年3月	第16分団車庫、詰所新築
平成22年4月	三島市消防団の定員、任免、給与及び服務等に関する条例の一部を改正し、消防団員の種類を基本団員と機能別団員とし、機能別団員21人が入団した。
平成22年12月	第8分団車庫、詰所新築
平成23年4月	三島市消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正し、団本部に分団長、班長、の階級を各1人増員し、団本部定員を33人とした。また、第15分団の定員を1人減とした。
平成23年12月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第4分団に配置した。
平成24年12月	小型動力ポンプ付積載車2台を更新し、第7分団、第9分団に配置した。
平成25年5月	田方支部消防操法大会の小型ポンプ操法の部で、第18分団が優勝。
平成25年12月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第6分団に配置した。
平成26年3月	総務省消防庁から救助資器材搭載型車両（小型動力ポンプ付積載車）及び消防団拠点資器材（エアータント、組立シャワー、救命ボート等）の無償貸与を受け、第18分団（御園）の車両更新を行った。
平成26年4月	第10分団を休団とした。

歴代消防団長

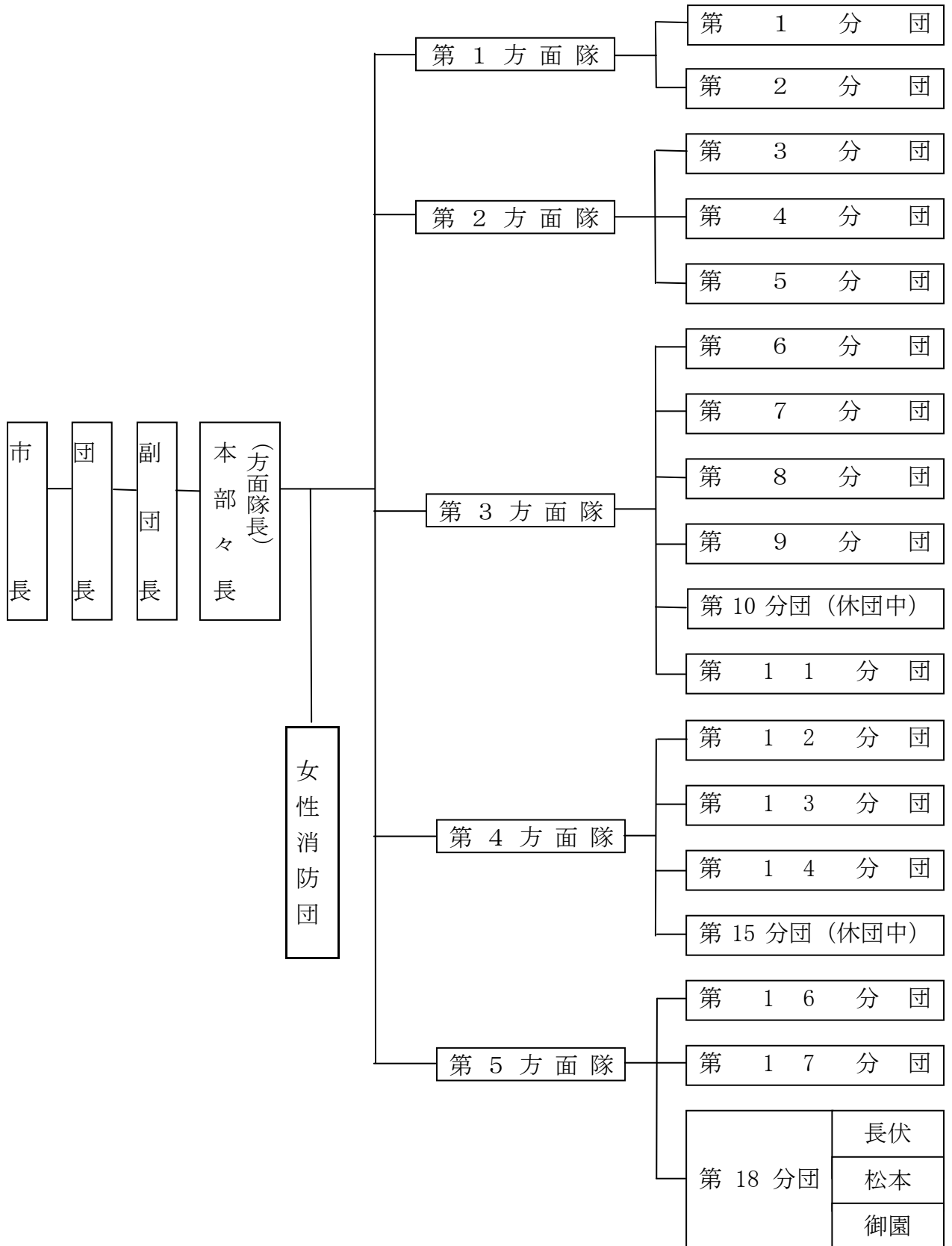
(昭和24年8月消防団編成以降)

代	氏名	期間
初代	松田吉治	昭和21年9月～昭和24年2月
2代	塩川立行	昭和24年3月～昭和27年1月
3代	鈴木保	昭和27年1月～昭和42年12月
4代	三田富也	昭和42年12月～昭和50年4月
5代	細井己子夫	昭和50年4月～昭和53年4月
6代	斎藤勝己	昭和53年4月～昭和61年4月
7代	鈴木豊	昭和61年4月～平成6年4月
8代	廣瀬光彦	平成6年4月～平成18年4月
9代	松川益蔵	平成18年4月～平成22年4月
10代	内野哲雄	平成22年4月～平成26年4月
11代	水口勇	平成26年4月～現在

消防団配置図



消防団組織機構図



消防団員定員実員調

(平成26年4月1日現在)

階級 所属	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計	所属別 定員
団本部	1	4	8		1	2	16	32	33
第1分団			1	1	3	3	6	14	24
第2分団			1	1	3	3	20	28	24
第3分団			1	1	3	3	9	17	25
第4分団			1	1	3	3	26	34	35
第5分団			1	1	3	3	15	23	25
第6分団			1	1	3	3	22	30	30
第7分団			1	1	3	3	7	15	20
第8分団			1	1	3	3	8	16	20
第9分団			1	1	3	3	18	26	25
第10分団 休団中			0	0	0	0	0	0	25
第11分団			1	1	3	3	22	30	30
第12分団			1	1	3	3	10	18	20
第13分団			1	1	3	3	18	26	30
第14分団			1	1	2	2	2	8	20
第15分団 休団中			0	0	0	0	0	0	9
第16分団			1	1	3	3	22	30	30
第17分団			1	1	3	3	30	38	35
第18分団			1	2	4	4	28	39	40
計	1	4	24	17	49	50	279	424	500
階級別定員	1	4	26	19	54	55	341	500	

消防団員年齢及び階級別調

(平成26年4月1日現在)

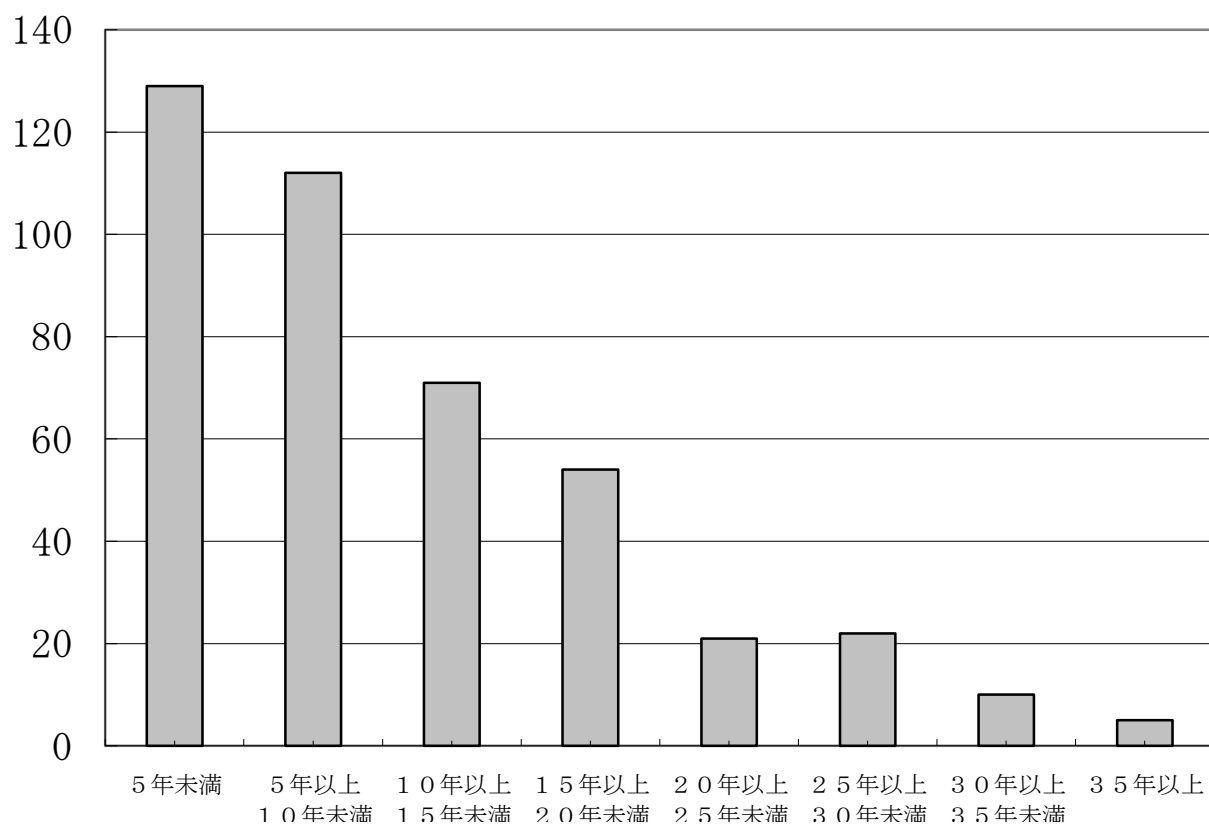
階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	小 計	年齢 合計
18歳未満								0	0
18歳							1	1	18
19歳							1	1	19
20歳							5	5	100
21歳							1	1	21
22歳							2	2	44
23歳							4	4	92
24歳						1	6	7	168
25歳					1		14	15	375
26歳			1				7	8	208
27歳						2	12	14	378
28歳				1	2	3	11	17	476
29歳					3	1	11	15	435
30歳					3	1	9	13	390
31歳			1		3	5	16	25	775
32歳			2	2	3	2	10	19	608
33歳				1	2	5	10	18	594
34歳			1		7	3	13	24	816
35歳			1	2	6	5	13	27	945
36歳			1	2		1	11	15	540
37歳			2		2	2	10	16	592
38歳				1	3	5	12	21	798
39歳			4	3	2	1	10	20	780
40歳			1	1	3	1	7	13	520
41歳			1		2	1	7	11	451
42歳			1	2	2	3	8	16	672
43歳			2		1	2	9	14	602
44歳		1		1	2	1	7	12	528
45歳			1		1	1	8	11	495
46歳			3				7	10	460
47歳						1	4	5	235
48歳						1	3	4	192
49歳							7	7	343
50歳			1		1		3	5	250
51歳				1			1	2	102
52歳			1			2	2	5	260
53歳							2	2	106
54歳		1					1	2	108
55歳								0	0
56歳							2	2	112
57歳		1					1	2	114
58歳		1					4	5	290
59歳							3	3	177
60歳							2	2	120
61歳	1						1	2	122
62歳								0	0
63歳							1	1	63
64歳								0	0
65歳以上								0	0
合 計	1	4	24	17	49	50	279	424	15,494
								平均年齢	36.5歳

消防団員勤続年数調

(平成26年4月1日現在)

階級 勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
5年未満				2	6	8	113	129
5年以上 10年未満			4	6	17	24	61	112
10年以上 15年未満			7	5	14	9	36	71
15年以上 20年未満			7	3	9	5	30	54
20年以上 25年未満		1	2	1	3	1	13	21
25年以上 30年未満			3			2	17	22
30年以上 35年未満	1	3	1			1	4	10
35年以上							5	5
計	1	4	24	17	49	50	279	424

消防団勤続年数グラフ



消防団出動状況

(平成25年中)

項目 月別件数 及び人員		火 災					風水害	演習訓練	広報指導	警戒	誤報	捜索	その他	合計
		建物	車両	林野	その他	市外								
1月	出動件数	1	1					8	5			2	6	23
	出動人員	38	35					510	13			70	62	728
2月	出動件数	1						2	6		2		4	15
	出動人員	100						79	14		132		83	408
3月	出動件数	1			1			3	13		2		4	24
	出動人員	76			48			82	1,189		113		43	1,551
4月	出動件数	1						26		1			6	34
	出動人員	44						790		35			399	1,268
5月	出動件数	2			2			23	7				5	39
	出動人員	186			62			686	27				82	1,043
6月	出動件数				1			5	10				5	21
	出動人員				56			317	33				50	456
7月	出動件数	1					2	6	24				10	43
	出動人員	63					14	206	69				86	438
8月	出動件数	5	1		1		1	15	5	5			3	36
	出動人員	362	40		46		56	770	23	17			27	1,341
9月	出動件数	1					1	4	12				2	20
	出動人員	48					231	236	91				59	665
10月	出動件数	4			1	1	1	5	7		1		6	26
	出動人員	302			39	75	279	137	30		21		30	913
11月	出動件数	3			1			3	15	3			4	29
	出動人員	199			40			93	810	18			62	1,222
12月	出動件数				2			3	6				6	17
	出動人員				76			99	233				34	442
計	出動件数	20	2	0	9	1	5	103	110	9	5	2	61	327
	出動人員	1,418	75	0	367	75	580	4,005	2,532	70	266	70	1,017	10,475

機械配置状況

消防ポンプ自動車

(平成26年4月1日現在)

分 団 名	所在地	車 名	年 式	種 別	製 作 所 名	摘 要
第 1 分 団	芝 本 町	三 菱	H 9	普 通	森 田 ポ ン プ	
第 2 分 団	北 田 町	い す ゞ	H 9	〃	小 川 ポ ン プ	
第 3 分 団	沢 地	い す ゞ	H13	〃	日 機 ポ ン プ	
第 4 分 団	幸 原	い す ゞ	H23	〃	小 川 ポ ン プ	
第 5 分 団	佐 野	い す ゞ	H13	〃	〃	
第 6 分 団	谷 田	ト ヨ タ	H25	〃	〃	
第 1 6 分 団	大 場	日 野	H 7	〃	〃	
第 1 7 分 団	新 谷	い す ゞ	H13	〃	〃	

小型動力ポンプ付積載車

(平成26年4月1日現在)

分 団 名	所在地	車 名	年 式	ポ ン プ 製 作 所 名	ポ ン プ 馬 力	年 式	摘 要
第 7 分 団	竹 倉	い す ゞ	H24	ト ー ハ ツ	2 2	H24	
第 8 分 団	夏 梅 木	〃	H18	ロ ビ ン	5 2	H18	
第 9 分 団	中	〃	H24	ト ー ハ ツ	2 2	H24	
第 1 0 分 団	玉 沢	〃	H18	ロ ビ ン	4 4	H18	団本部保管
第 1 1 分 団	川原ヶ谷	〃	H18	〃	4 4	H18	
第 1 2 分 団	塚 原	〃	H18	〃	5 2	H18	
第 1 3 分 団	三ツ谷	日 産	H 9	〃	4 0	H 9	
第 1 4 分 団	笹 原	い す ゞ	H18	〃	5 2	H18	
第 1 8 分 団	長 伏	い す ゞ	H16	ロ ビ ン	4 4	H18	
第 1 8 分 団	松 本	日 産	H 9	〃	5 2	H 9	
第 1 8 分 団	御 園	い す ゞ	H26	ト ー ハ ツ	3 0	H26	

小型動力ポンプ

(平成26年4月1日現在)

分 団 名	所在地	年 式	馬 力	形 式	製 作 所 名	摘 要
第 1 分 団	芝本町	5 2	4 0	B 3	シバウラ	
第 2 分 団	北田町	5 8	1 3	C 1	〃	
第 3 分 団	沢 地	H13	1 3	C 1	ロ ビ ン	
第 4 分 団	幸 原	H23	1 3	C 1	マ キ タ	
第 5 分 団	佐 野	H11	1 3	C 1	ロ ビ ン	
第 6 分 団	谷 田	5 5	1 3	C 1	〃	
第 1 6 分 団	大 場	H 7	3 6	B 3	〃	
第 1 7 分 団	新 谷	H13	1 3	C 1	〃	

消防団員報酬

(平成26年4月1日現在)

階級 \ 区分	年 報 酬	災 害 出 動 (1 回)	訓 練 出 動 (日 額)	警 戒 出 動 (日 額)
団 長	76,000円	2,000円	2,000円	2,000円
副 団 長	61,000円	〃	〃	〃
分 団 長	46,000円	〃	〃	〃
副 分 団 長	36,000円	〃	〃	〃
部 長	31,000円	〃	〃	〃
班 長	28,000円	〃	〃	〃
団 員	26,000円	〃	〃	〃
機能別団員	支給なし	〃	〃	〃



©三島市

平成 25 年版 消防年報

発行年月	平成 26 年 8 月
発行	静岡県三島市南田町 4 番 4 0 号 三島市消防本部
編集	警防救急課
T E L	0 5 5 - 9 7 2 - 5 8 0 3
F A X	0 5 5 - 9 7 3 - 0 1 2 5
E-mail	kyuukyuu@city.mishima.shizuoka.jp